

アルミのタクミ。
RIKEN

アルミ笠木

パラカサ

Aluminum Coping



JIS H 8602

A1種 認証取得

2020年版

多くの舞台で活躍する **RIKEN** のアルミ製品

アルミとともに歩んできた80年。アルミにしかできないことを、これからも…



パラカサ使用例



病院・老人福祉施設



学校・教育施設



病院・老人福祉施設



公共施設

RIKEN の製品

スパンドレル

内外装ルーバー

アルミひさし

エキスパンションジョイントカバー

アルミ笠木

カーテン・ブラインドボックス

点検口



その他各製品使用例



駅舎・空港建築
スパンドレル



店舗
スパンドレル



公共施設
内外装ルーバー



集合住宅
内外装ルーバー



学校・教育施設
エキスパンションジョイントカバー



庁舎・役場
アルミひさし



事務所
カーテン・ブラインドボックス



駅舎・空港建築
点検口

RIKENのアルミ笠木「パラカサ」は
自然や環境変化に耐え、
建物をいつまでも美しく守ります。

PK225・PK250

岐阜県立岐阜工業高校（岐阜県）

仕上／シルバー



PM500 一宮市立市民病院（愛知県） 仕上／RB-5N



FLK250
一関水泳プール(岩手県)
仕上/シルバー



PK275・PK225他
宇部西リハビリテーション病院(山口県)
仕上/シルバー

Color variation

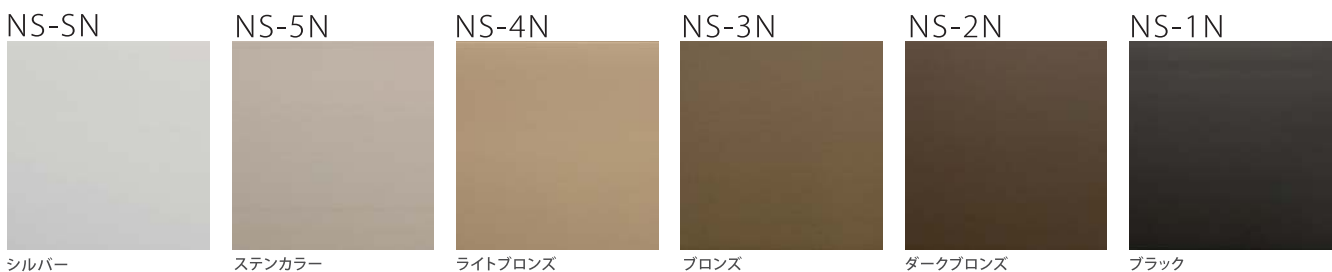
優れた耐候性 JIS H 8602 A1種

RIKENのアルマイト艶消しクリアー製品は陽極酸化皮膜の上に、電着塗装（艶消しクリアー）が施されているため、紫外線、風、酸性雨等の自然条件に対しての耐候性が優れています。（使用条件や環境により本来の性能が確保できない場合がありますので、定期的な清掃をお願いします。）

エレカラー® (JIS H 8602 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜 に規定するA1種)



シルクカラー® [マツト処理] (JIS H 8602 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜 に規定するA1種)



●印刷物のため、実際の色と異なります。カラーサンプル帳を用意しておりますので最寄の支店、営業所にご請求ください。●上記以外のアルマイト特注色、焼付塗装も対応できます。焼付塗装の場合は、日本塗料工業会色見本帳からお選びください。●アルマイト仕上はツヤ消しクリアーとなります。●仕上げの種類や色により価格が異なります。



ご使用・ご利用前に必ずお読みください。

設計のポイント — 設計者様・建設者様へ —

- 笠木だけで雨仕舞を完璧にすることは出来ません。強風時には笠木の内側に雨水が回り込む事がありますので、パラペットの天端は、あらかじめ防水処理を施してください。
- 製品の取付箇所は水平に仕上げてください。不陸が大きい場合は製品を確実かつ綺麗に取り付ける事が困難になります。
- 躯体天端には防水層のみで、モルタル仕上げはしないでください。ひび割れの原因になります。
- ALC板の天端部や下端部など製品が取り付く箇所には、アングル又はフラットバー等を通してください。製品取付強度が確保出来なくなる場合があります。
- 二重壁の場合、笠木が確実に取り付けられる躯体としてください。製品取付強度が確保出来なくなる場合があります。
- 設計時には強度計算等でブラケット取付ピッチを確認してください。高層部や多雪地帯、特殊な納まり等ではブラケットピッチを狭くしたり、ブラケットの数を増やす必要がある場合があります。
- 既製品笠木巾(100巾～600巾)を越える特注品に関してはご相談ください。
- 既製品以外の特注巾を板材(PM)で製作する場合の強度は、PMの強度を適用してください。

施工のポイント — 施工業者様へ —

- 製品取り付けの前に防水層に損傷が無い確認してください。漏水の原因となります。
- 防水層端部のシーリング処理など雨仕舞が完全になされているか確認してください。問題があれば現場責任者様へ報告の上、処理を求めてください。
- 作業時に防水層を損傷しないよう細心の注意を払い施工してください。漏水の原因となります。
- 安全のため付属部品で取り付けてください。また、特殊な納まり等の場合は取付躯体に合わせたアンカーにて確実に取り付けしてください。
- 笠木本体はブラケットへ確実に嵌め合わせてください。嵌め合わせが不十分ですと製品の脱落、飛散の原因となります。
- アジャスター・ビスを3枚以上使用して不陸を調整する場合は、ロングビス(80mm)等をご使用ください。取り付けが不十分ですと製品の脱落や飛散、破損の原因となります。
- 施工図に基づき確実に施工してください。取り付けが不十分ですと製品の脱落や飛散、破損の原因となります。
- 笠木の上に乗ったり物を置いたりしないでください。落下や製品破損の原因になるとともに、笠木天面の歪や変形の原因となります。
- 施工後は速やかに養生シートを剥がしてください。時間経過により剥がしにくくなる原因となります。
- 無理な体勢での施工は落下等の原因となります。細心の注意を払い施工してください。
- 製品寸法が長い場合は取り回しにご注意ください。施工現場や製品の破損原因となります。
- 製品の小口は鋭利になっている場合があります。怪我の原因となりますので取り扱いにご注意ください。
- 製品の保管時は、湿気をよばない場所に損傷を与えない様に枕をかい平積みして保管してください。

注意事項とお願い — お客様へ —

- 笠木の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。落下や製品破損の原因になるとともに、笠木天面の歪や変形の原因となります。
- ゴンドラ等での荷物の上げ下げで笠木に荷重がかからないよう注意してください。製品の脱落や飛散、破損の原因となります。
- 夏期の日中は笠木に直接触れないでください。笠木が高温になり、直接触れると火傷をする恐れがあります。
- 施工後に製品をむやみに外さないでください。怪我や製品破損の原因となります。
- 製品の取り外しには危険が伴います。取り外しが必要な場合は専門業者にお任せください。

C o n t e n t s



8	パラカサ® シリーズ ラインナップ
10	笠木 特長
12	笠木 固定ブラケット数の確認
14	笠木
18	化粧前カバー
22	化粧フラットタイプ
26	水切り笠木
28	水切り
32	下端水切り
36	R付下端水切り
37	見切りカバー
38	防水層端部押さえ材
40	パラマस्क® [乾式立上部保護工法]
42	押出成型セメント板用 笠木・水切り
44	二重壁用 力板
45	ロッキング構法対応笠木
	〈 技術資料 〉
46	パラカサ® 製品仕様
48	ベンディング
50	専用ねじ・アンカープラグ引抜強度
51	笠木の目地について
52	笠木施工後のゴンドラ設置について
53	メンテナンスについて
54	公共建築工事標準仕様書

Aluminum Coping **PARAKASA** Series Lineup

笠木

▶P.14



100～600巾に対応した豊富なバリエーションを誇るRIKENのアルミ笠木。高い機能性と強度、優れた意匠性を兼ね備え、スナップインの簡単施工を実現。
小口フタなどのオプションパーツも充実し、棟上導体にも対応します。

化粧前カバー

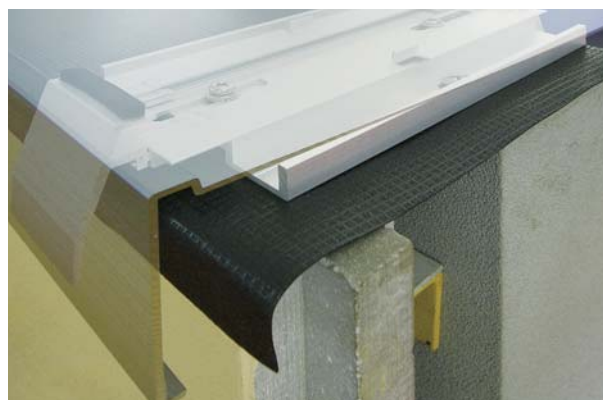
▶P.18



曲面のしなやかなフォルムを誇る化粧前カバー。前面カバーは7種類の中から選択可能。意匠性向上に大きく貢献します。

二重壁用 力板

▶P.44



250～600巾までの笠木に対応。押出成型セメント板やALC・PC板などの二重壁にも、安全かつ確実な施工を実現します。

ロッキング構法対応笠木

▶P.45



層間変移で生じる躯体天端の段差を独自のロッキングジョイント(特許取得)で吸収し、笠木の破損を未然に防ぎます。
笠木巾100～600mmに対応し、笠木本体に嵌合するだけの簡単施工。

化粧フラットタイプ

▶P.22



化粧フラットタイプは、建物の天端にシャープさと重厚感を与える意匠性を重視した笠木。スナップインの簡単施工で工期の短縮にも貢献します。

水切り笠木

▶P.26



110～210巾の5品種のバリエーションとスナップインの簡単施工で、様々な施工現場に対応。オープンシステムで結露を防ぎ、笠木との意匠統一で、美しい外観が保たれます。

水切り

▶P.28



のみ込みに深い納まりで防水層端部を保護。さらに、独自のスナップ方式で簡単施工を実現。安定した納まりと工期の短縮を両立します。

下端水切り

▶P.32



専用の取付アンカーによる高施工性と取付躯体を選ばないマルチな構造を実現。R部と直線部のデザインを統一することで、シャープでかつ美しい仕上がりを可能にしました。

見切りカバー

▶P.37



先付けタイプ3種類と後付けタイプ1種類をラインナップし、一体感ある「R」による意匠効果を実現します。

防水層端部押さえ材

▶P.38



様々な防水層の厚さに対応し、陸屋根の雨仕舞に威力を発揮。工期短縮とローコストを実現するスナップイン方式を採用。R曲げにも対応し、直線部と曲線部の意匠統一が図れます。

押出成型セメント板用 笠木・水切り

▶P.42



押出成型セメント板への納まりを考慮したトータル設計。パラペット上部部・目地部・軒天端部・基礎部と、それぞれの部位に最適な部材をご用意しています。

パラマスク®

▶P.40



屋上立上部を確実に保護しながら、パラカサならではのデザイン性を発揮。表面ボードをはめ込む簡単構造により、メンテナンス性にも優れています。

図面データをダウンロード

弊社WEBサイトで、各種図面をご覧いただけます。また、図面データのダウンロードも可能です。ぜひお役立てください。

<https://www.rikenkeikinzoku.co.jp/caddl/kate07/index.html>



笠木 特長

日本金属笠木工業会基準に適合しています。

笠木工業会基準

建築基準法施行令第82条の5
建築基準法告示第1454号
建築基準法告示第1458号
の規定により風圧力を算出しています。

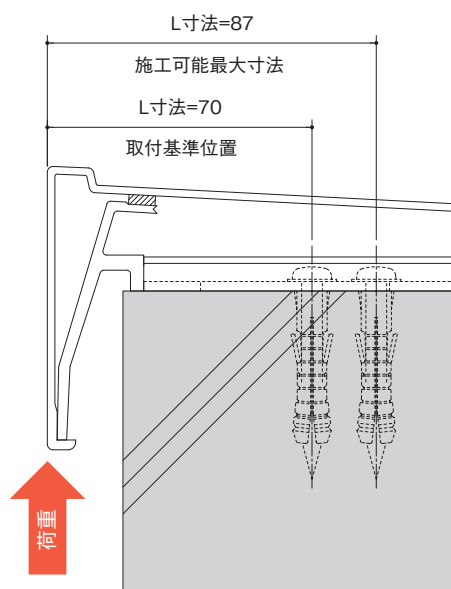
基準風圧力設定条件

建物平均高さ $H = 25\text{m}$
基準風速 $V_0 = 38\text{m}$
地表面粗度区分 Ⅲ
ピーク風力係数 $C_f = -3.5$

※ピーク風力係数は笠木工業会で行った測定結果に基づく数値です。

左記条件にて計算した風圧力

2758N/m^2

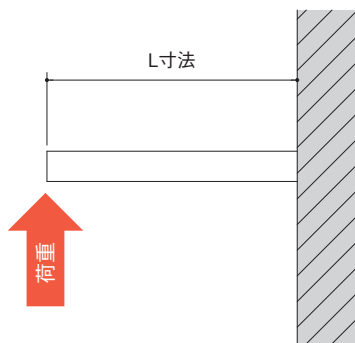


片持りの端部集中荷重として算出

$$M = WL$$

M: 曲げモーメント
W: 荷重
L: 片持長さ

※ L 寸法が強度に大きく影響します！



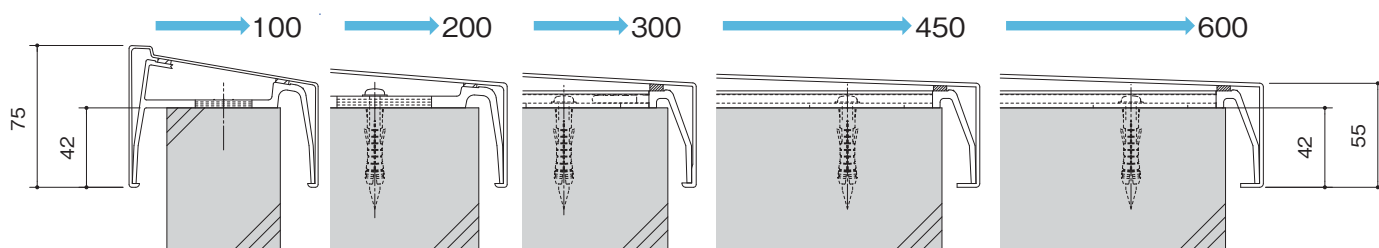
**RIKEN の笠木は
取付最大寸法で強度を
算出しています。**

標準ブラケット取付ピッチ (定尺 3 m)

笠木巾	ブラケットピッチ	ブラケット数
100 ~ 225	1398	3 個
250 ~ 400	1390	
450 ~ 600	695	5 個

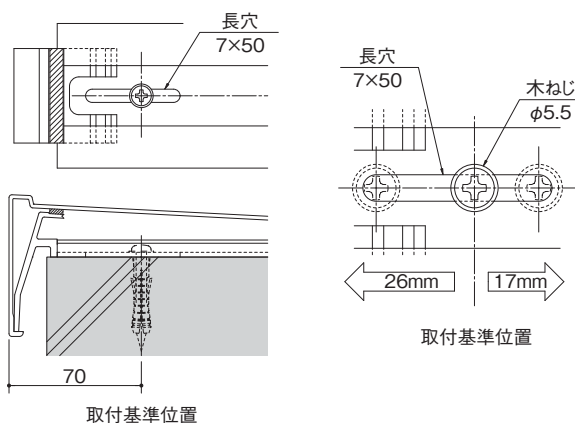
のみ込み深さを全サイズ統一

PK100 ~ PM600 まで全サイズ、のみ込み深さを【42mm】に統一。違巾との取合い時など高さ調整なしで施工することが可能です。

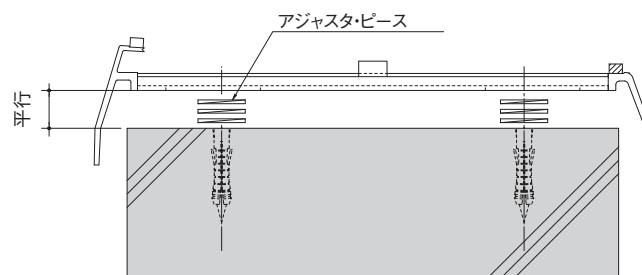


新ブラケットで施工性向上

- ◆ 大きな長穴で様々な納まりに対応します (200巾以上)



- ◆ 躯体天端とブラケットが平行でレベル調整が簡単です



スナップインの簡単施工



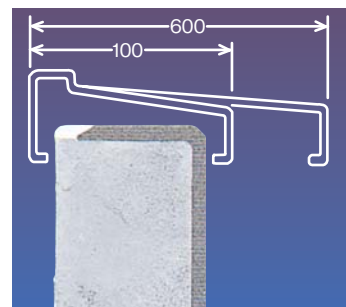
スナップジョイント方式なのでアンカーに、完全固定ではありません。

オープンジョイント



ジョイント部は溝付きの特殊ジョイント材を配置する事によりコーキングを不要にしました。

豊富なラインナップ

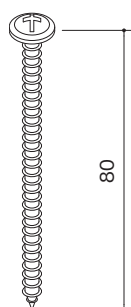


豊富なサイズの中から躯体に合せた選択が出来ます。ALC、RC、鉄骨造りにおいても納まりは完全です。

充実したオプション

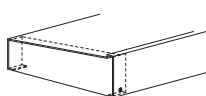
ロングビス

φ5.5×80(SUS)

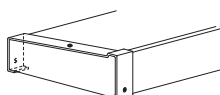


小口フタ

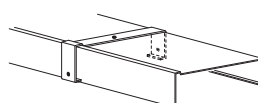
PFタイプ



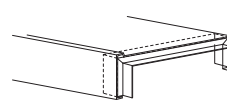
PKFタイプ



ジョイントカバー



コーキング受け



◆風圧に対する確認

パラカサ笠木を安全に取り付けていただく為に、適正な笠木固定ブラケット数を確認してください。

設定条件確認事項

●笠木巾 ●製品取付地域 建物高さ及び製品取付地上高さ

設定条件確認事項をもとに①～④の順番にそって、笠木固定ブラケット数の確認をしてください。

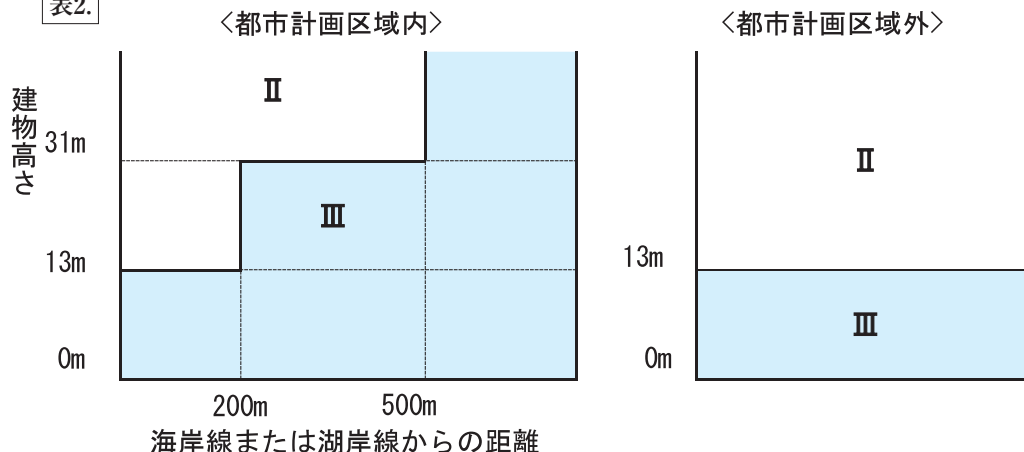
① 基準風速を求めます。 ② 地表面粗度区分を求めます。

表1.簡易基準風速早見表

(単位：m/sec)

都道府県	基準風速
北海道	36
青森県	34
岩手県	34
宮城県	30
秋田県	34
山形県	32
福島県	30
茨城県	36
栃木県	30
群馬県	30
埼玉県	34
千葉県	38
東京都(除島)	34
神奈川県	36
新潟県	32
富山県	30
石川県	30
福井県	32
山梨県	32
長野県	30
岐阜県	34
静岡県	36
愛知県	34
三重県	34
滋賀県	34
京都府	32
大阪府	34
兵庫県	34
奈良県	34
和歌山県	34
鳥取県	32
島根県	34
岡山県	32
広島県	34
山口県	34
徳島県	38
香川県	34
愛媛県	34
高知県	40
福岡県	34
佐賀県	34
長崎県	36
熊本県	34
大分県	32
宮崎県	36
鹿児島県	46
沖縄県	46

表2.



※「海岸線または湖岸線」は対岸までの距離が1500m以上のものとする。
※地表面粗度区分のIとNは特定行政庁が規則で定めます。

③ ①, ②から求めた値をもとに風圧力を求めます。

表3.簡易風圧力早見表

※使用箇所の推奨高さは、40m以下です。

単位 (N/m²)

基準風速	30		32		34		36		38		40		42		44		46	
地表面粗度区分	II		III		II		III		II		III		II		III		II	
高さ (m)	II	III	II	III	II	III	II	III	II	III	II	III	II	III	II	III	II	III
5m以下	1527	903	1737	1027	1961	1160	2199	1300	2450	1449	2715	1605	2993	1770	3285	1942	3590	2123
6	1613	971	1835	1105	2072	1248	2323	1399	2588	1558	2867	1727	3161	1904	3469	2089	3792	2284
9	1821	1142	2072	1300	2340	1467	2623	1645	2922	1833	3238	2031	3570	2239	3918	2457	4282	2686
12	1986	1282	2259	1458	2550	1646	2859	1845	3186	2056	3530	2278	3892	2512	4271	2757	4668	3013
15	2123	1401	2416	1594	2727	1800	3057	2018	3406	2248	3774	2491	4161	2746	4567	3014	4992	3294
18	2242	1507	2551	1715	2880	1936	3229	2170	3598	2418	3987	2680	4395	2954	4824	3242	5272	3544
21	2349	1603	2672	1824	3017	2059	3382	2308	3768	2572	4175	2850	4603	3142	5052	3448	5522	3769
24	2445	1691	2781	1924	3140	2172	3520	2435	3922	2713	4346	3006	4791	3314	5259	3638	5747	3976
27	2532	1773	2881	2017	3253	2277	3647	2553	4063	2844	4502	3151	4964	3474	5448	3813	5954	4168
30	2614	1849	2974	2104	3357	2375	3764	2662	4194	2967	4647	3287	5123	3624	5623	3977	6145	4347
35	2738	1967	3115	2237	3516	2526	3942	2832	4392	3155	4867	3496	5366	3854	5889	4230	6436	4624
40	2849	2074	3242	2360	3660	2664	4103	2987	4572	3328	5066	3688	5585	4066	6129	4462	6699	4877

※高さは、建物高さとして製品取付地上高さのどちらか高い方を選択してください。
※上記風圧力は、笠木工業会にて行った試験結果に基づき算出しています。

国土交通省告示第1454号第2第1項による。
市町村の基準風速を求める場合は、国土交通省告示第1454号第2第1項を参照してください。

4 笠木固定ブラケット数を確認します。

③で求めた風圧力を **グラフ 1** 上で水平に線を引き、該当する笠木巾の位置で適正なブラケット数を確認します。

グラフ1. 風圧用 笠木ブラケット数確認グラフ

風圧力 (N/m²)	6000	932 (4)	932 (4)	932 (4)	699 (5)	699 (5)	699 (5)	927 (4)	927 (4)	927 (4)	927 (4)	927 (4)	695 (5)	695 (5)	556 (6)	556 (6)	556 (6)
	5500				932 (4)	932 (4)	932 (4)	1390 (3)							695 (5)		
	5000	1398 (3)							1390 (3)				927 (4)			695 (5)	
	4500									1390 (3)							695 (5)
	4000		1398 (3)	1398 (3)							1390 (3)	1390 (3)					
	3500				1398 (3)	1398 (3)	1398 (3)						1390 (3)				
	3200																
	3000																
	2758																
	2500																
	2000																
	1500																
	1000																
	500																
		100	135	150	175	200	225	250	275	300	325	350	400	450	500	550	600

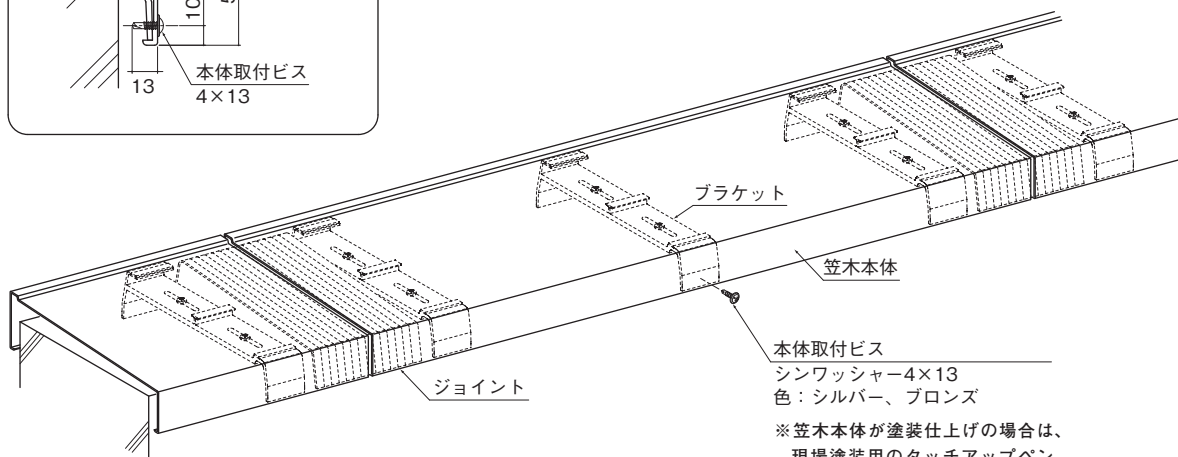
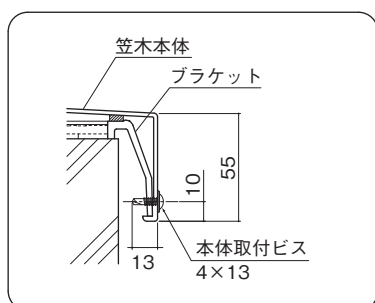
笠木巾 (mm)

記載のブラケットピッチは、定尺3mあたりを、ブラケット個数で等分割りした場合の数値です。
()内の数値は定尺3mあたりのブラケット数を示します

定尺3mあたりのブラケットピッチ 及び ブラケット個数

笠木巾	ブラケットピッチ (mm)	ブラケット数 (個)	備考
100 ~ 225	1398	3	標準
	932	4	標準+1
	699	5	標準+2
250 ~ 400	1390	3	標準
	927	4	標準+1
	695	5	標準+2
450 ~ 600	695	5	標準
	556	6	標準+1
	463	7	標準+2

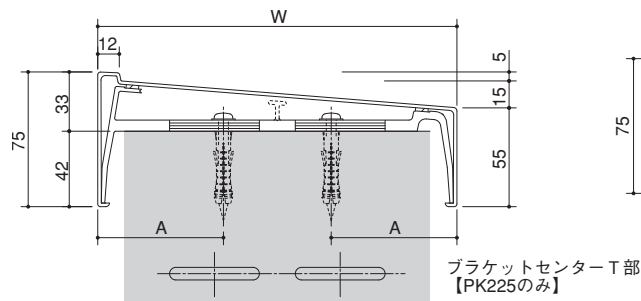
⚠ 目地ズレ及び笠木の飛散防止対策として、付属の「本体取付ビス」で、本体1箇所を固定してください。



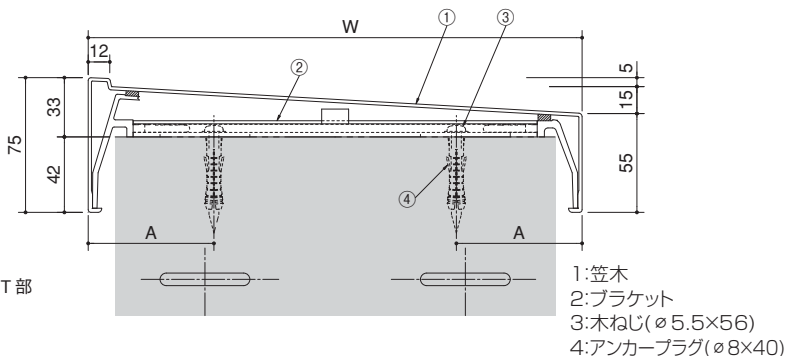
※ 笠木本体が塗装仕上げの場合は、現場塗装用のタッチアップペン (オプション) をご用意しています。

ラインナップ

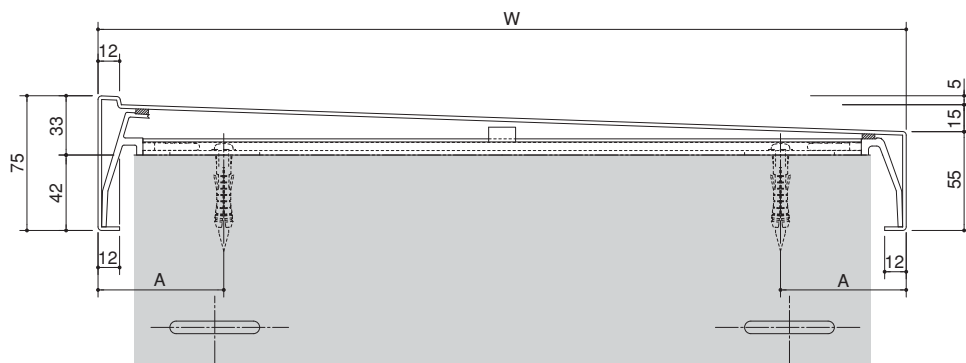
PK135~225



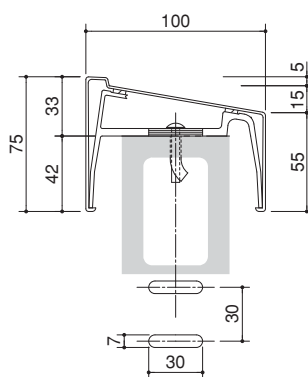
PK250~400



PM450~600



PK100



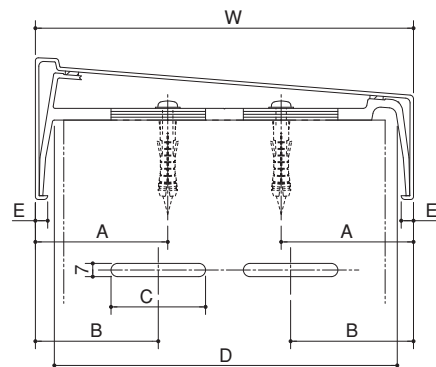
※R曲げ仕様はP48をご参照ください。

仕 様

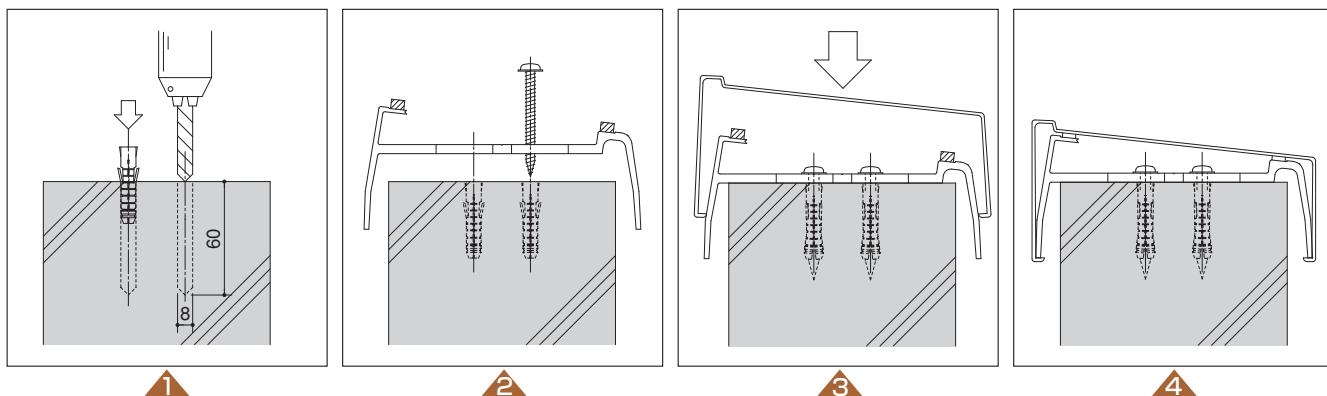
タイプ		PK(型材)												PM(板材)				PH(型材)※棟上導体用					
製品名		PK100	PK135	PK150	PK175	PK200	PK225	PK250	PK275	PK300	PK325	PK350	PK400	PM450	PM500	PM550	PM600	PH150	PH175	PH200	PH225	PH250	PH275
直線部材	本体板厚(mm)	1.3	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.8	2.0	2.1	2.3	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.2	2.5
	直線本体寸法(mm)	3,000																					
コーナー部材	コーナ本体	PD100	PD135	PD150	PD175	PD200	PD225	PD250	PD275	PD300	PD325	PD350	PD400	PMD450	PMD500	PMD550	PMD600	PHD150	PHD175	PHD200	PHD225	PHD250	PHD275
	製品記号	PI100	PI135	PI150	PI175	PI200	PI225	PI250	PI275	PI300	PI325	PI350	PI400	PMI450	PMI500	PMI550	PMI600	PHI150	PHI175	PHI200	PHI225	PHI250	PHI275
部品箱	コーナー本体寸法(mm)	500×500											700×700			800×800		500×500					
	直線部材用	記号	PBN100	PBN135	PBN150	PBN175	PBN200	PBN225	PBN250	PBN275	PBN300	PBN325	PBN350	PBN400	PBN450	PBN500	PBN550	PBN600	PBN150	PBN175	PBN200	PBN225	PBN250
部品箱	直線部材用	セット明細	ブラケット:3個 ジョイント:1個 木ねじ・アンカープラグ:各6本(100用は偏芯プラグ) アジャスタ・ピース:12枚 本体取付ビス:1本											ブラケット:5個 ジョイント:1個 木ねじ・アンカープラグ:各10本 アジャスタ・ピース:20枚 本体取付ビス:1本			ブラケット:3個 ジョイント:1個 木ねじ・アンカープラグ:各6本 アジャスタ・ピース:12枚 本体取付ビス:1本						
	コーナー部材用	セット明細	定尺用・コーナー用は兼用です。											PCBN450 PCBN500 PCBN550 PCBN600 ブラケット:4個 ジョイント:1個 木ねじ・アンカープラグ:各8本 アジャスタ・ピース:16枚 本体取付ビス:1本			定尺用・コーナー用は兼用です。						

笠木巾W(mm)	100	135	150	175	200	225	250	275	300	325	350	400	450	500	550	600
A寸法(mm)	50	53	60	60	70											
B寸法(mm)	50	48	55	55	65											
C寸法(mm)	30				50											
D寸法(mm)	82	117	130	155	181	206	224	249	273	298	323	374	424	474	524	574
E寸法(mm)	5.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	7.5	7.5	7.5	7.5	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

※D寸法は図面寸法です。現場の状況を考慮し、余裕のある設計をしてください。



取付手順



1. 墨出しに基づき、ブラケット取付位置に電動ドリルで2ヶの穴を躯体に開けます。【ドリル径=φ8 深さ=60】
各穴にアンカープラグを差し込みます。

2. ブラケットをセットし、専用ねじでブラケットを固定します。

3. 笠木本体は図のように真上からブラケットにおしこむようスナップオンさせます。笠木の取り付けは、コーナー等の役物から取り付けます。目地寸法は6mm以上で施工してください。

4. 確実に嵌め合わされているか確認し、取付完了です。

割 付

ブラケット

100~400

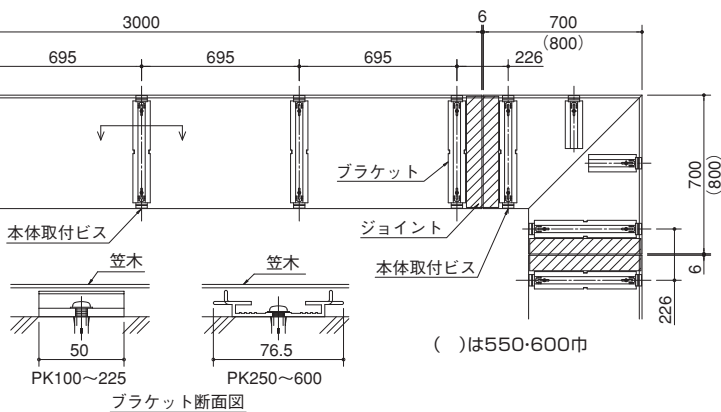
1. 定尺部のブラケットピッチ【P寸法】(定尺3000に3ヶ)、及びジョイント部【a寸法】は右表の寸法で割付けます。
2. コーナー部は図の様に割付けます。
3. コーナー部のブラケット(1ヶ)は現場にて切断し使用してください。
4. 本体取付ビスで本体1箇所を固定してください。

笠木巾	P寸法	a寸法
100~225	1398	210
250~400	1390	226

()は400巾

450~600

1. 定尺部のブラケットピッチは695(定尺3000に5ヶ)、ジョイント部は226で割付けます。
2. コーナー部は図の様に割付けます。(550・600巾はコーナー寸法800×800)の寸法で割付けます。
3. コーナー部のブラケット(2ヶ)は現場にて切断し使用してください。
4. 本体取付ビスで本体1箇所を固定してください。

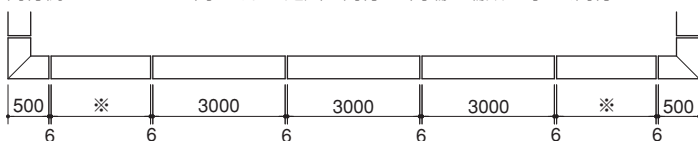


()は550・600巾

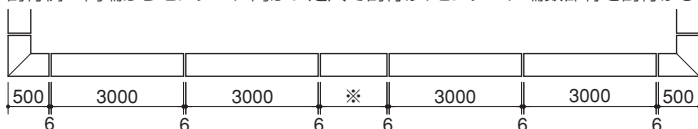
笠 木

1. 最初に各コーナー部や役物部を取り付けます。
2. 次に直線部を割付けます。

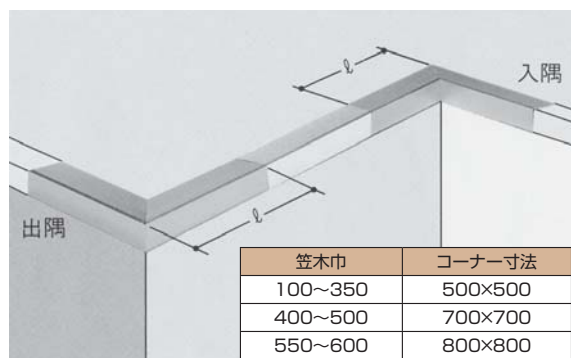
割付例A:センターから両サイドへ定尺で割付け、両端に端数を等しく割付ける。



割付例B:両端からセンターに向かい定尺で割付け、センターに端数部材を割付ける。



出入隅コーナー寸法



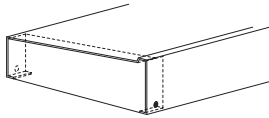
笠木巾	コーナー寸法
100~350	500×500
400~500	700×700
550~600	800×800

オプションパーツ

小口フタ

PF100~600R・L

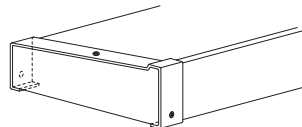
AL板 t=1.0



※本図は左(L)

PKF100~600R・L

AL形材・AL板

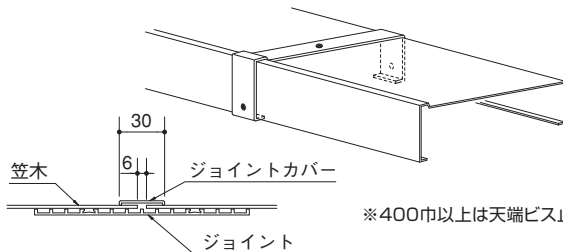


※本図は左(L)
※400巾以上は天端ビス止め

ジョイントカバー

PKJC100~600

AL形材

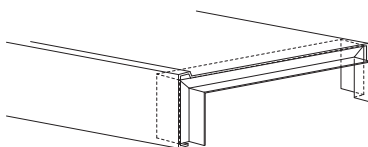


※400巾以上は天端ビス止め

コーキング受け

PC100~600R・L

AL板 t=1.0

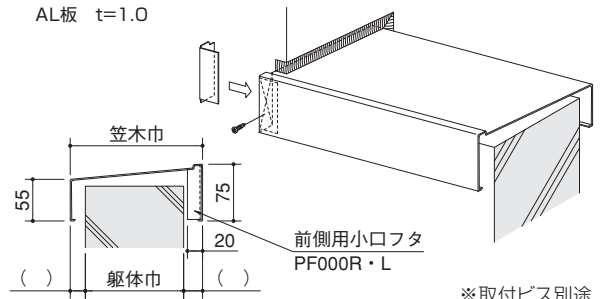


※本図は右(R)

前側用小口フタ

PF000R・L

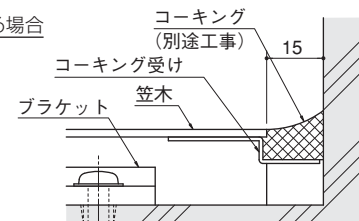
AL板 t=1.0



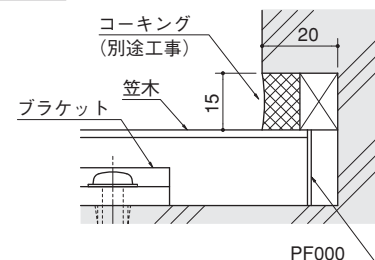
※取付ビス別途

笠木端部納まり例

躯体に当てる場合



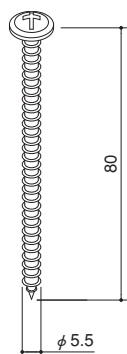
躯体に埋め込む場合



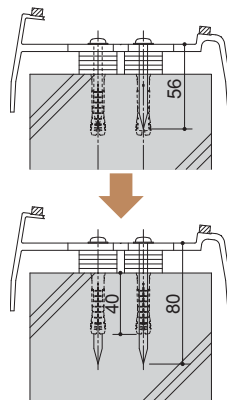
ロングビス

SM5580

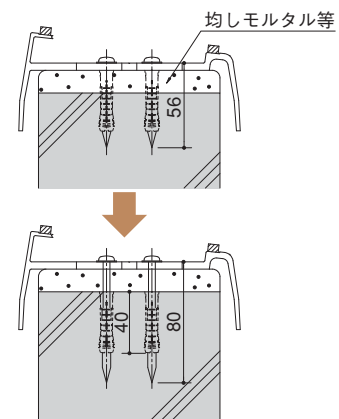
材質:SUS XM7



アジャスタ・ピース等のスペーサーを使用し各躯体天端の不陸を調整する場合



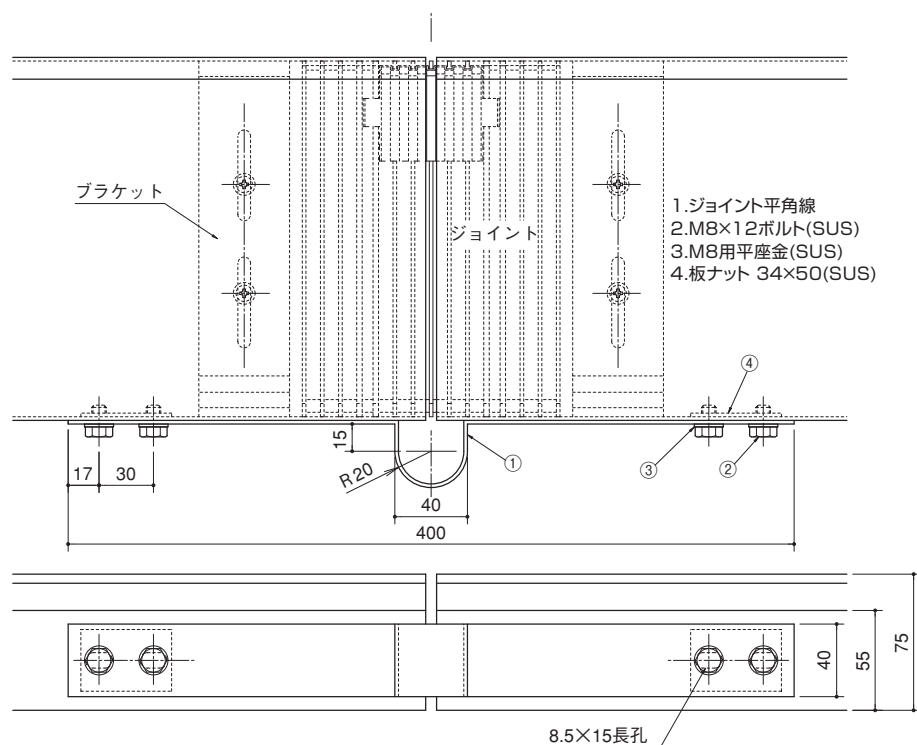
躯体天端を均しモルタル等で処理している場合



締付け強度を確保する為、木ねじの先端はアンカープラグ先端より「5mm以上」貫通するようにしてください。

棟上導体システム

1. 避雷針の保護範囲を大きくカバーします。
 2. 笠木に一体化され、より確実な棟上導体となります。
 3. パラペットの意匠、防水を損なわず棟上導体ができます。
 4. 避雷針設備のコストダウンと工期の短縮を計ります。
- ※詳細はお問い合わせください。



仕様

笠木巾	製品名	板厚 (mm)	断面積 (mm ²)	材料
150	PH150	2.0	575	A6063S-T5 (JIS H 4100)
175	PH175	2.0	625	
200	PH200	2.0	675	
225	PH225	2.0	725	
250	PH250	2.2	849	
275	PH275	2.5	1043	
300	PK300	2.0	895	
325	PK325	2.1	989	
350	PK350	2.3	1132	
400	PK400	2.5	1343	
450~ 600	PM450~ PM600	2.0	1195(450) 1295(500) 1395(550) 1495(600)	A1100P-H14 (JIS H 4000)

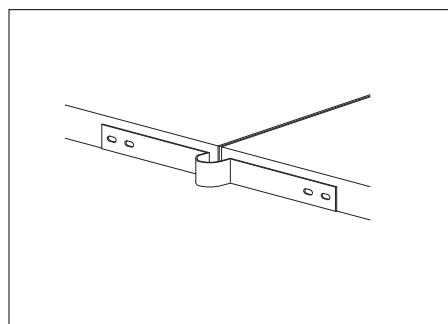
【ジョイント平角線】

- 温度変化による伸縮を、ジョイントの中央部に大きな湾曲をもたせ対応させます。

- ・記号: JHS
- ・材質: A1100P-H14
- ・板厚: 2.0mm
- ・断面積: 80mm²
- ・入数: 10セット

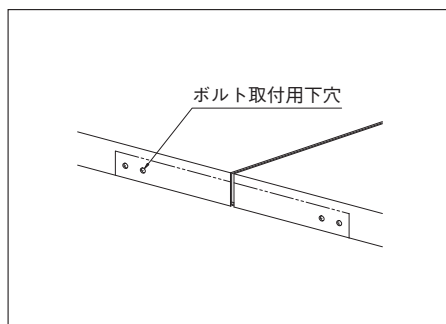
- ジョイント平角線 10ヶ
- 六角ボルト SUS M8×12 ... 40本
- 平ワッシャー SUS M8用 ... 40枚
- 板ナット SUS304 t=2.0 ... 20枚

取付手順



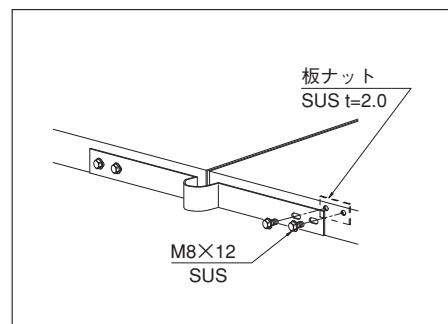
1

笠木取付後、ジョイント部にジョイント平角線を当てがい、取付位置をマーキングします。



2

マーキング位置にM8ボルト用の下穴(φ8.5~φ9)をあけます。



3

ジョイント平角線を六角ボルト(M8×12)と板ナットで確実に締めつけ、取付完了です。

※ジョイント平角線の中央湾曲部で笠木の寸法変化を吸収します。

化粧前カバー〔後付け〕

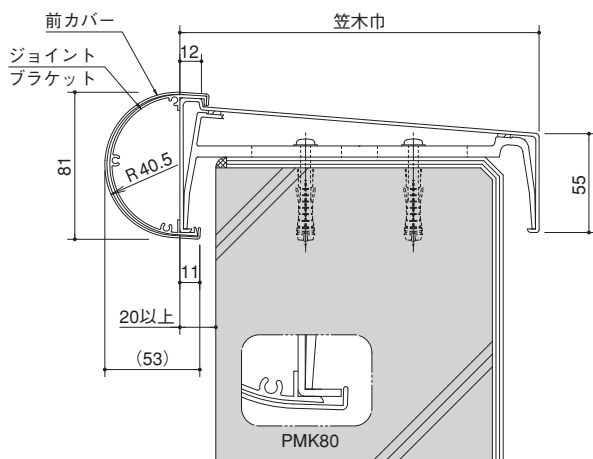
受注生産



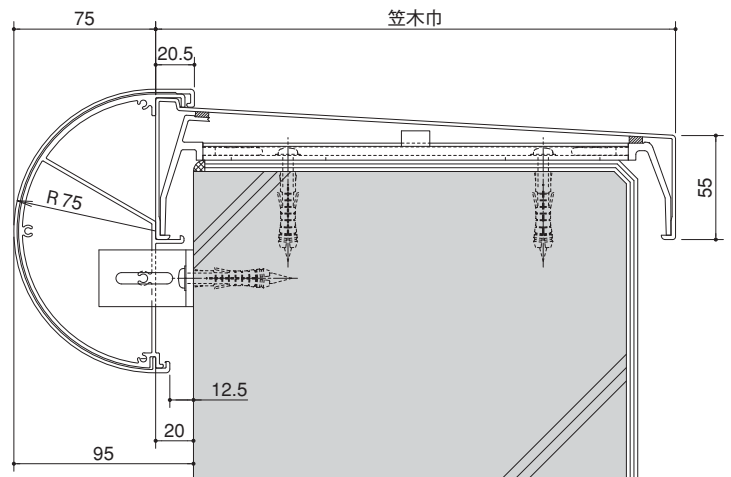
- 笠木パラカサのフロント部に取り付けることにより意匠性、デザイン性、さらには高級感、オリジナルイメージを付加できます。
- 取り付けが簡単な嵌合式により、ローコストで極めて短期間での施工を実現します。
- 笠木幅100～600までワイドバリエーション。

ラインナップ

PKK80



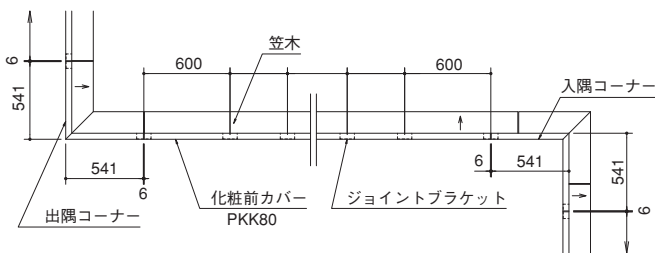
PKK150



※R曲げ仕様はP48をご参照ください。

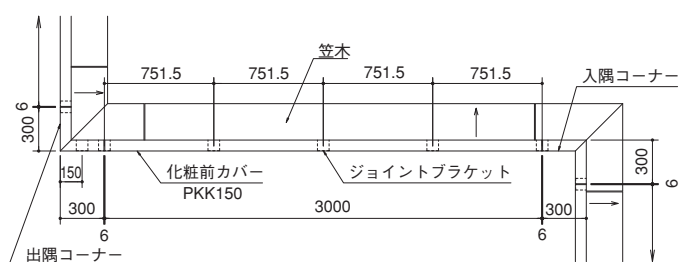
割 付

PKK80



1. 化粧前カバーの目地部にジョイントブラケットを取り付けます。
2. ジョイントブラケットの取付ピッチは 600mm 前後で取り付けます。
3. 化粧前カバーのコーナー（トメ部溶接）長さは 541mmx541mm です。
4. 化粧前カバー直線部材の定尺寸法は3mで、1本当たりのジョイントブラケット使用数は 5 ケです。
5. 目地寸法は 6mm 前後で施工してください。

PKK150



1. 化粧前カバーの目地部にジョイントブラケットを取り付けます。
2. ジョイントブラケットの取付ピッチは 751.5mm 前後で取り付けます。
3. 化粧前カバーのコーナー（トメ部溶接）長さは 300mm x 300mm です。
4. 化粧前カバー直線部材の定尺寸法は 3m で、1本当たりのジョイントブラケット使用数は 4 ケです。
5. 目地寸法は 6mm 前後で施工してください。

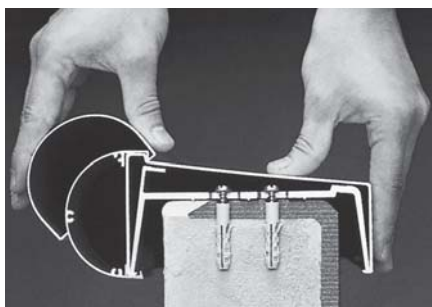
取付手順

PKK80



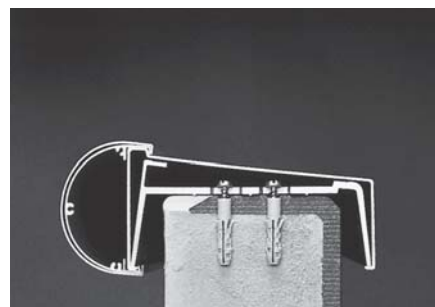
1

割付図に基づき笠木を取り付けます。



2

割付図の所定の位置にジョイントブラケットを嵌合させ、化粧前カバーを取り付けます。
化粧前カバーの嵌合は、コーナーなどの役物からまず先に付けます。この時の目地寸法は約6mm前後で施工するようにします。

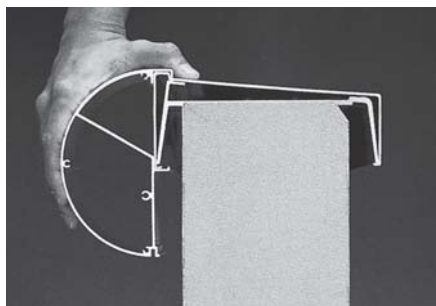


3

以後割付図に従い化粧前カバーを取り付け、施工は完了します。



PKK150



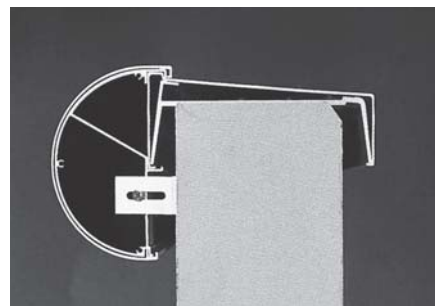
1

割付図に基づき笠木にジョイントブラケットを嵌合します。



2

ジョイントブラケットに取付アングルをビス止めし躯体に穴を開け、アンカープラグを差し込み専用ねじで固定します。【ドリル径=φ8 深さ=60】



3

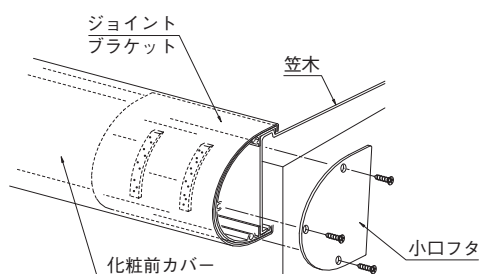
本体の天地を確認しジョイントブラケットに嵌合させ取付完了です。

オプションパーツ

小口フタ

PKKF80・150

AL板 t=2.0

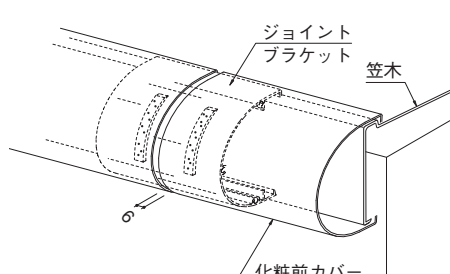


※図はPKKF80
※PKKF150は笠木一体型もあります。

ジョイントブラケット

PKKJ80・150

AL形材

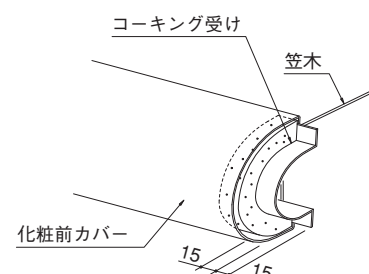


※図はPKKJ80

コーキング受け

PKKC80・150

AL板 t=1.0



※図はPKKC80

仕 様

化粧前カバー	製品名		本体L寸法	板 厚	ジョイントブラケット
	直 線 部 材	PKK80-PMK80	3000(1本)	1.2	L=100(5ヶ)
		PKK150		1.7	L=80(4ヶ)
	出隅コーナー	5PKKD80-5PMD80	541×541(1ヶ)	1.2	L=100(2ヶ)
		PKKD150	300×300(1ヶ)	1.7	L=80(2ヶ)
	入隅コーナー	5PKKI80-5PMKI80	541×541(1ヶ)	1.2	L=100(2ヶ)
		PKKI150	300×300(1ヶ)	1.7	L=80(2ヶ)

※PKK80はPK笠木に、PMK80はPM笠木に取り付けます。また、PKK150はPK及びPM笠木のどちらにも取り付けられます。

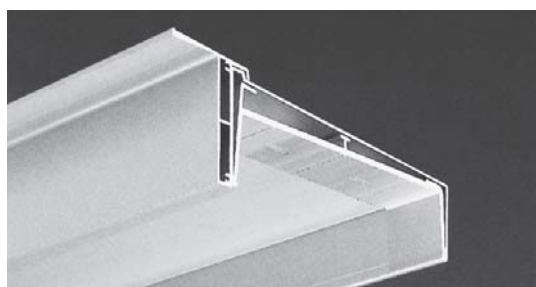
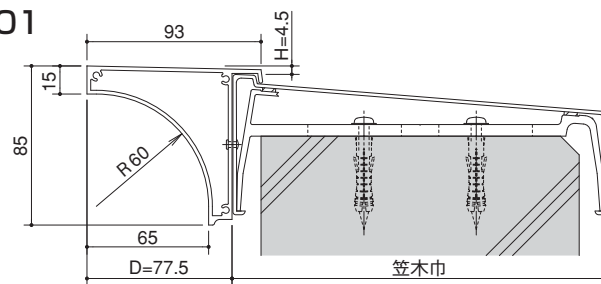
化粧前カバー [化粧前カバーと笠木は組付け出荷いたします。]

受注生産

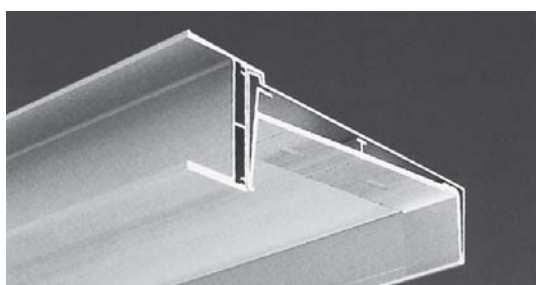
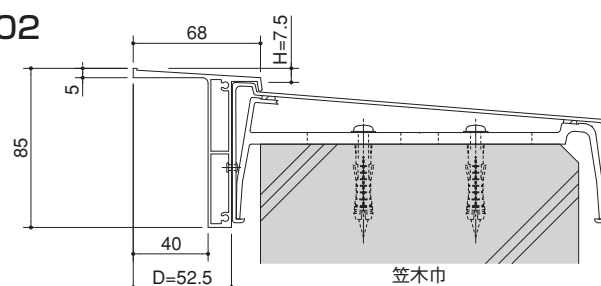
ラインナップ



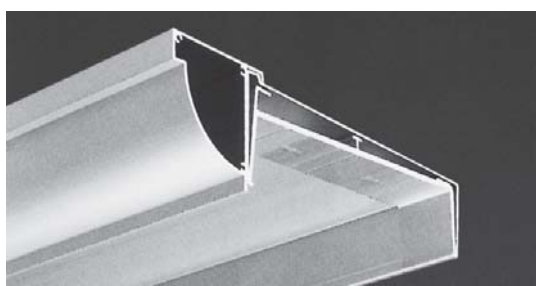
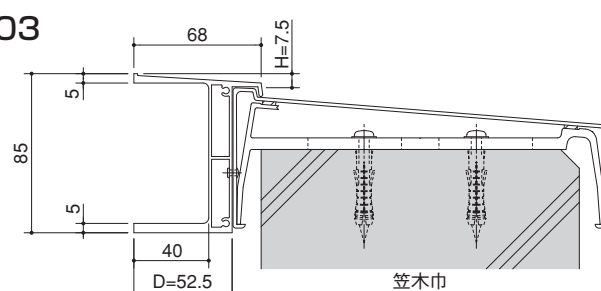
■ PKK001



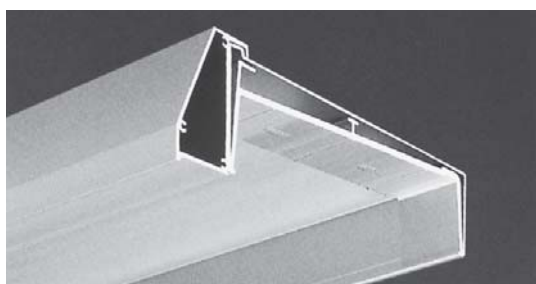
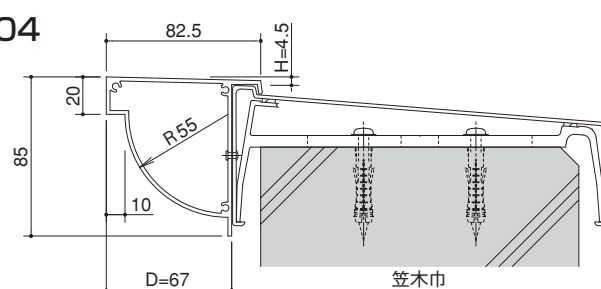
■ PKK002



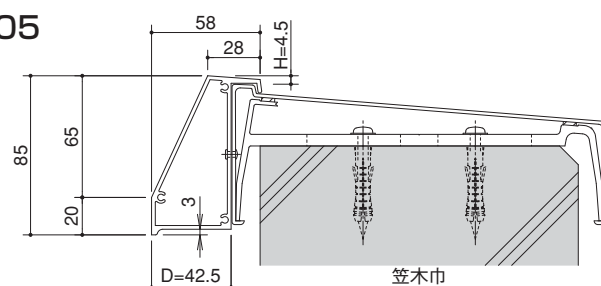
■ PKK003



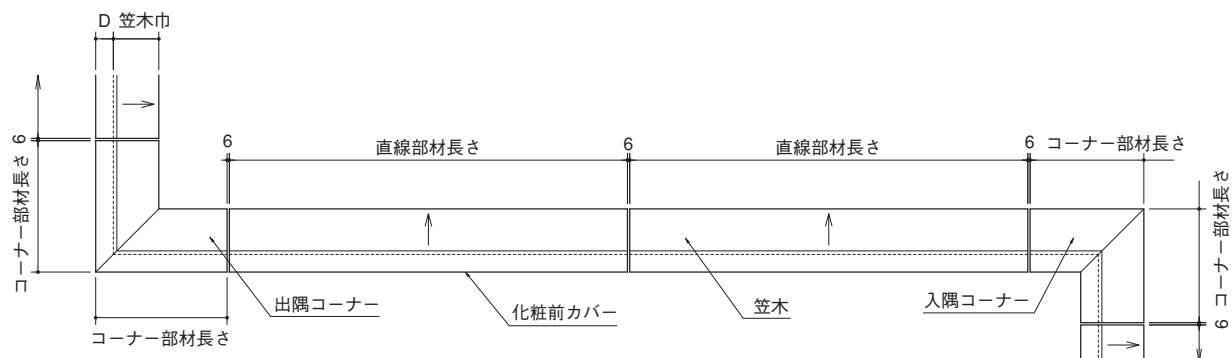
■ PKK004



■ PKK005



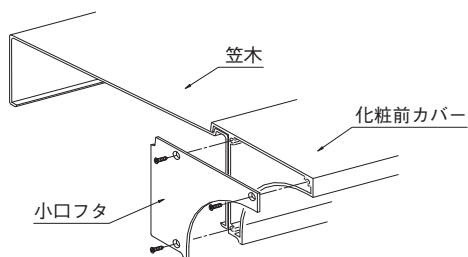
割 付



オプションパーツ

単独仕様 PKKF001～005R・L

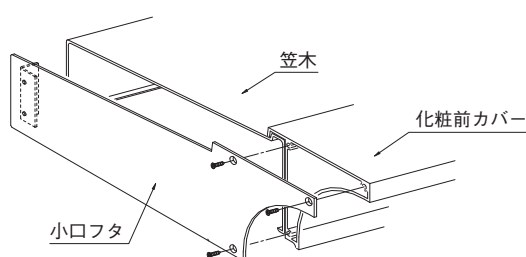
AL板 t=2.0



※図はPKKF001L

本体一体型 PKKF001～005-笠木巾R・L

(笠木巾450～600はPMKF) AL板 t=2.0



※図はPKKF001-200L

仕 様

種類と本体長さ(mm)	製品名	対応笠木
直線部材 3000	PKK001～005-笠木巾	PK100～400
	PMK001～005-笠木巾	PM450～600
	PHK001～005-笠木巾	PH全種類
出隅コーナー ※笠木本体出隅コーナー寸法+D	PKKD001～005-笠木巾	PK100～400
	PMKD001～005-笠木巾	PM450～600
	PHKD001～005-笠木巾	PH全種類
入隅コーナー 500×500(笠木巾350まで) 700×700(笠木巾400～500まで) 800×800(笠木巾550-600)	PKKI001～005-笠木巾	PK100～400
	PMKI001～005-笠木巾	PM450～600
	PHKI001～005-笠木巾	PH全種類

※笠木本体出隅コーナー寸法はP15をご覧ください。

化粧フラットタイプ

受注生産



- 先端部にシャープさと重厚感を与える意匠性。
- 従来の笠木と同様、スナップインによる簡単施工。
- 先端部にはジョイントピンを採用。
躯体や取付精度に影響されず、美しくシャープなラインを演出。
- 要望に合わせたオプション選択が可能。

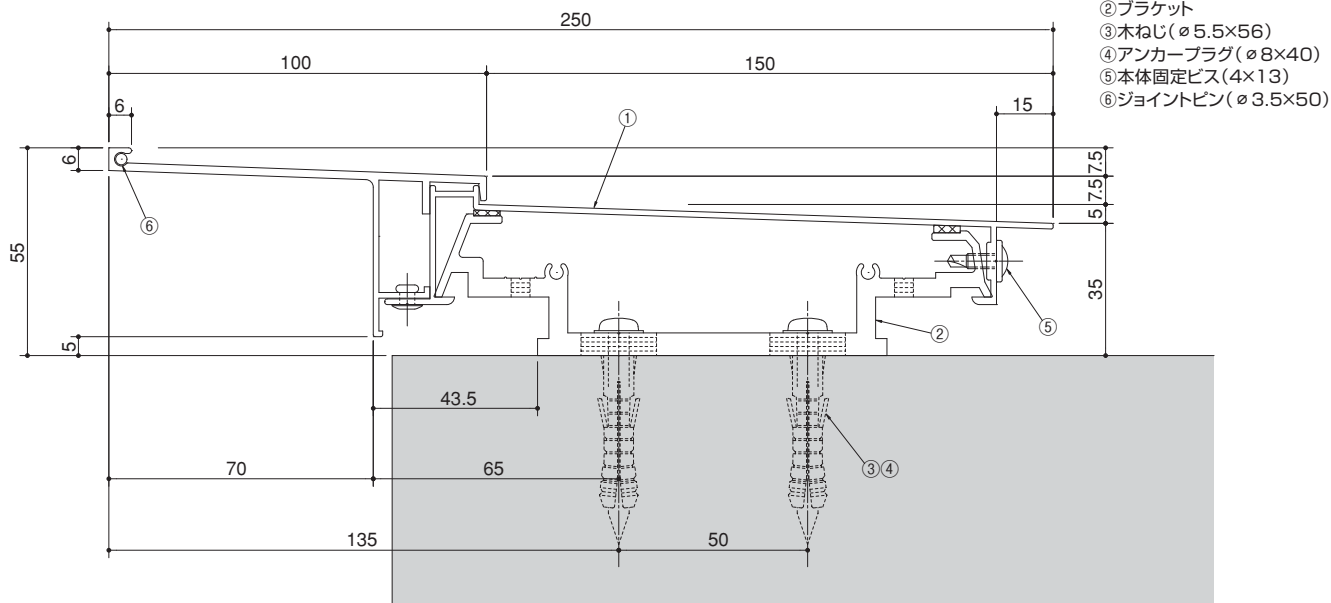
※R加工には対応出来ません。



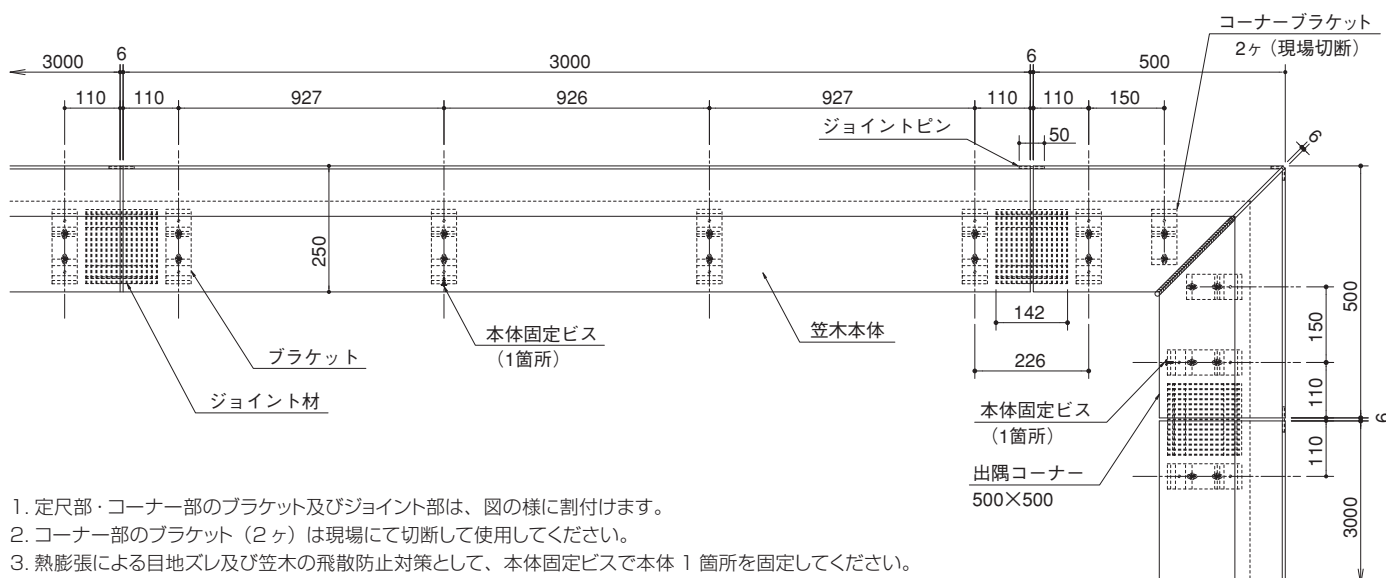
本製品での完全防水は出来ません。
ブラケット取付箇所での防水対策を行う様指示をしてください。

ラインナップ

FLK250



割 付

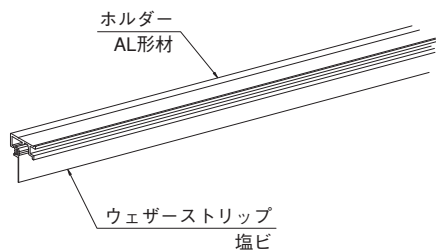


1. 定尺部・コーナー部のブラケット及びジョイント部は、図の様に割付けます。
2. コーナー部のブラケット（2ヶ）は現場にて切断して使用してください。
3. 熱膨張による目地ズレ及び笠木の飛散防止対策として、本体固定ビスで本体 1箇所を固定してください。

オプションパーツ

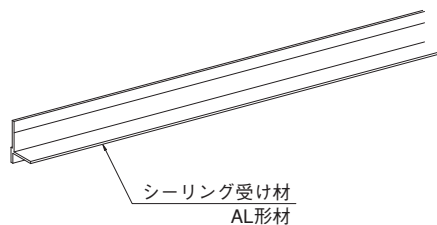
ウェザーストリップ

直線部用 FLKW (L=3000)
 コーナー部用 FLKW15 (L=1500)



シーリング受け材

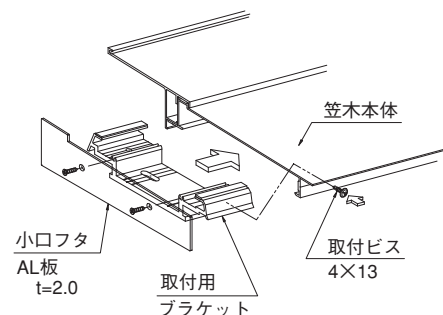
直線部用 FLKU (L=3000)
 コーナー部用 FLKU15 (L=1500)



小口フタ

FLKF250R・L

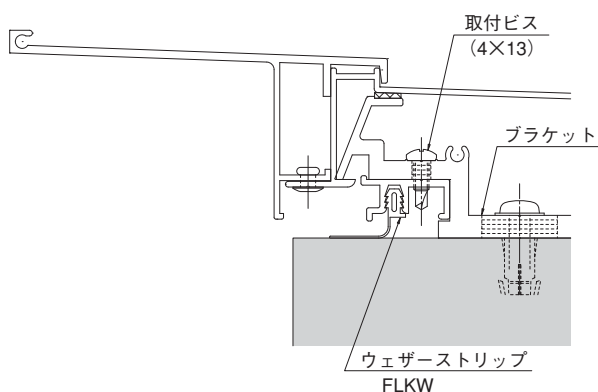
※本図は右用 (FLKF250R)



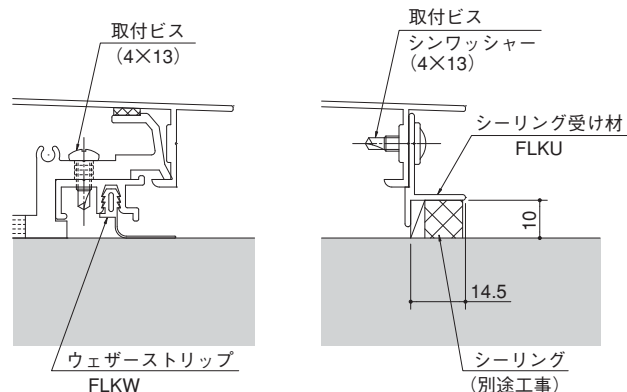
オプションパーツ納まり

ウェザーストリップ【FLKW】は付属の固定ビスでブラケットに固定します。
 シーリング受け材【FLKU】は付属の固定ビスで笠木本体に固定します。

前側



後側



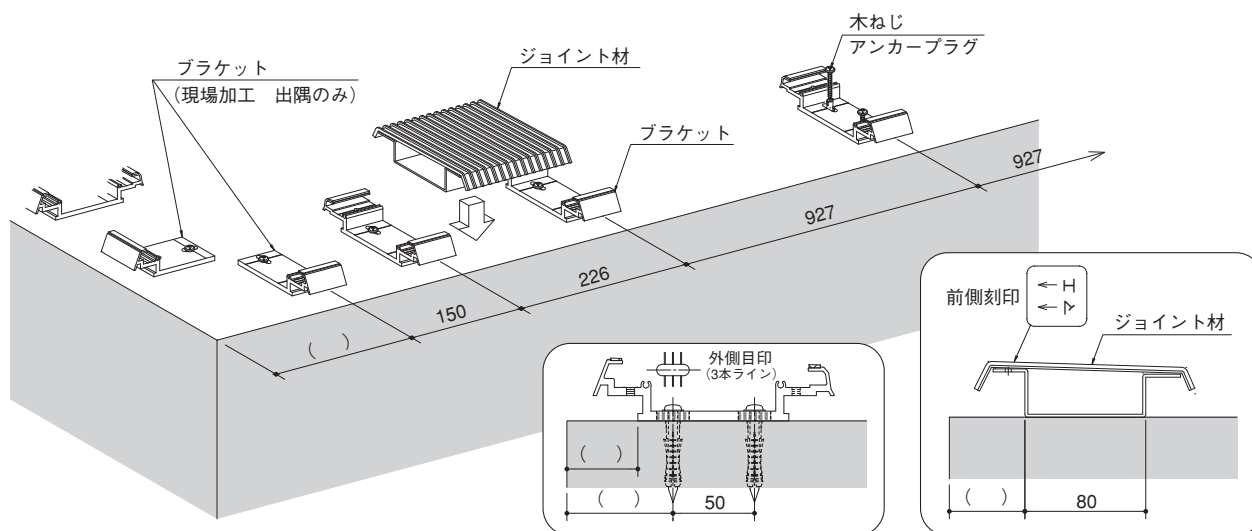
仕 様

名 称		製品名	サイズ	セット内容
本体	直 線 部	FLK250	3000	1本
	出隅コーナー	FLKD250	500×500	1コーナー
	入隅コーナー	FLKI250	500×500	1コーナー
部 品 箱		FLKB250		ブラケット 4個 ジョイント 1個 木ねじ 8本 アンカープラグ 8本 アジャスタピース 16枚 ジョイントピン 1本 本体固定ビス 1本 取付説明書 1枚

名 称		製品名	サイズ	セット内容	
オプション パーツ	ウェザー ストリップ	FLKW	3000	ホルダー	1本
		FLKW15	1500	ウェザーストリップ	1本
					取付ビス
				(SUSなべ頭4×13)	
	シーリング 受け材	FLKU	3000	シーリング受け材	1本
		FLKU15	1500	取付ビス	5本
				(SUSシンワッシャー4×13)	
小口フタ	FLKF250R・L		小口フタ	1枚	
			組付ビス	2本	
			(SUSD6皿ビス4×12)		
			取付用ブラケット	1個	
			取付ビス	1本	
			(SUSシンワッシャー4×13)		

※ウェザーストリップ・シーリング受け材は、出荷数量により本体に同梱する場合があります。

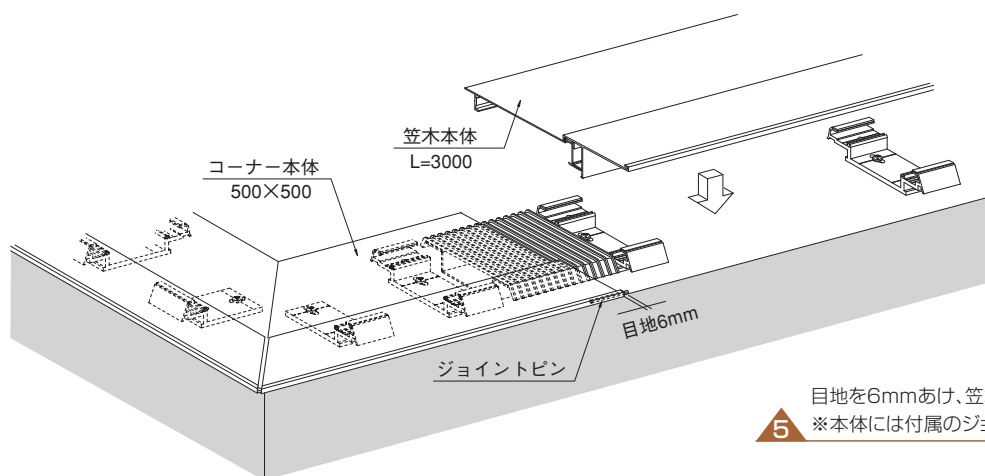
取付手順



1 墨出しに基づき、ブラケット取付位置に下穴(φ8)をあけます。

2 ブラケットの3本ラインが外側になる様に配置し、専用ねじで固定します。

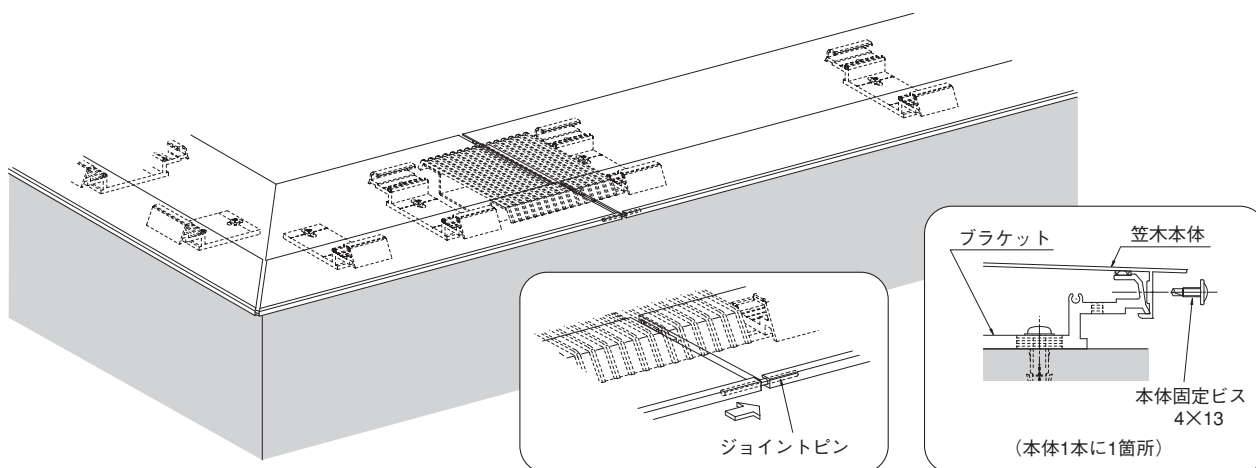
ジョイント部にジョイント材を配置します。「マエ」の表示を外側にしてください。



4 コーナー本体を取り付けます。

目地を6mmあけ、笠木本体を取り付けていきます。

※本体には付属のジョイントピンを差し込んでおいてください。

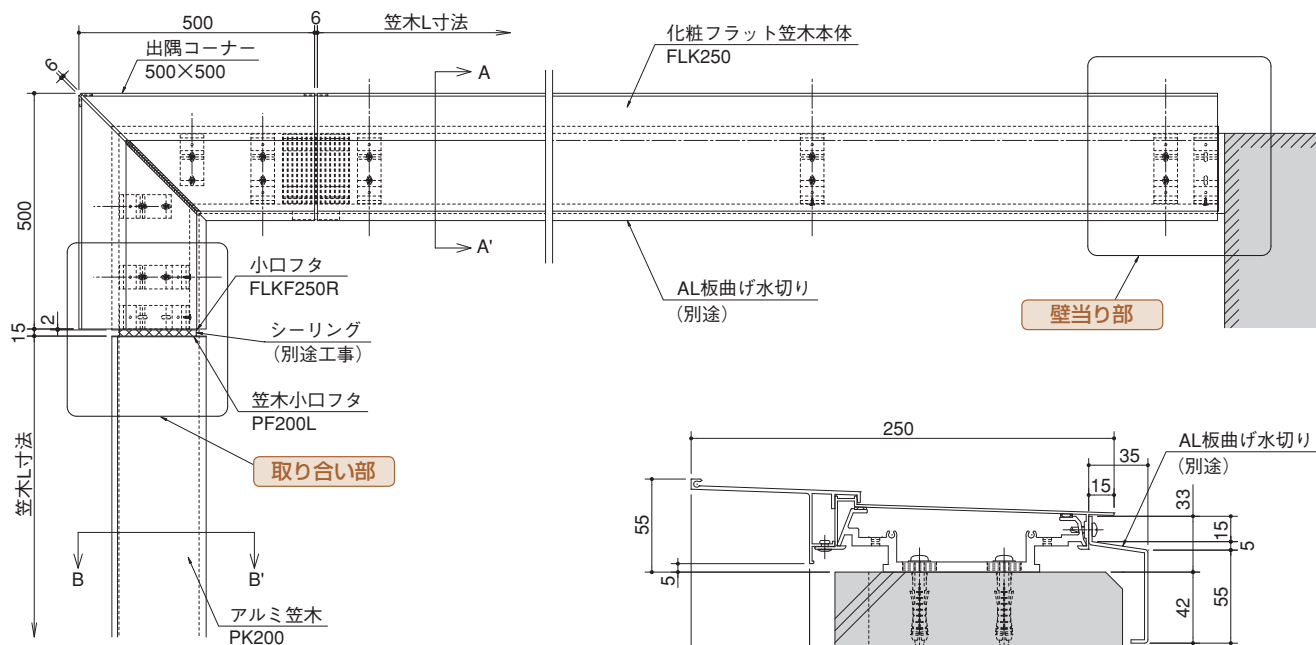


6 本体1本に対し1箇所、付属の本体固定ビスで固定します。

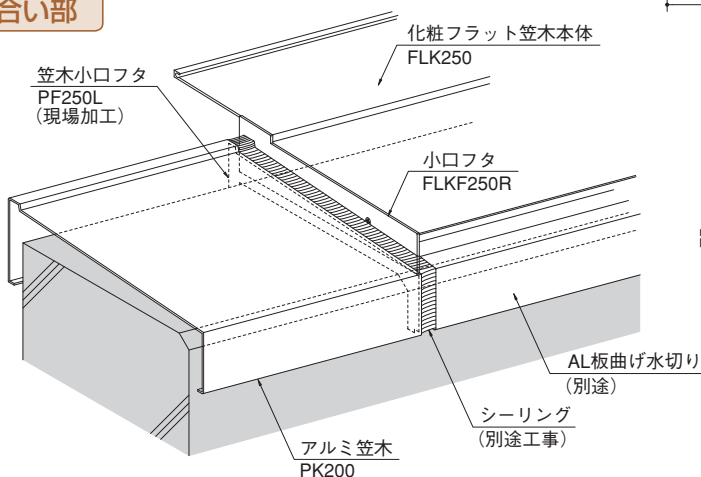
差し込んでおいたジョイントピンをスライドさせ、先端部の通りをそろえます。

参考納まり例

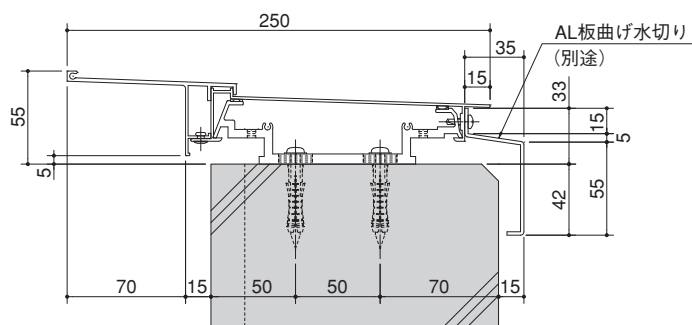
- FLK250・PK200取り合い
- FLK250壁当り部



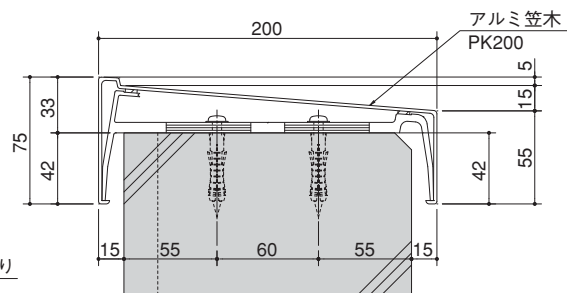
取り合い部



A-A'断面

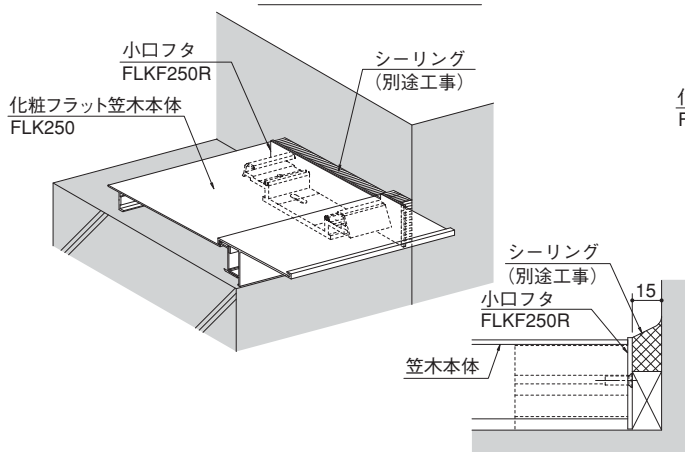


B-B'断面

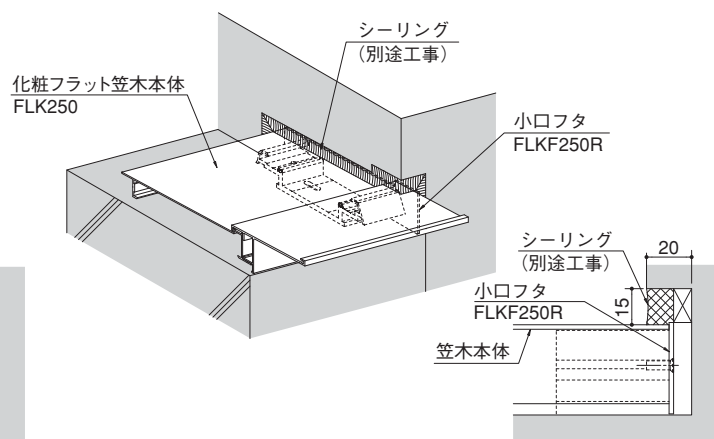


壁当り部

躯体に当てる場合



躯体に埋め込む場合

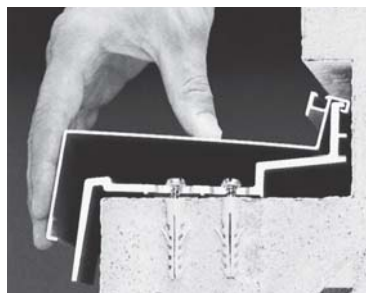


水切り笠木



オープンシステムで完全に一体化

笠木との取合いを完全にし、統一された美しい外観が得られます。オープンシステムで結露水の心配もありません。



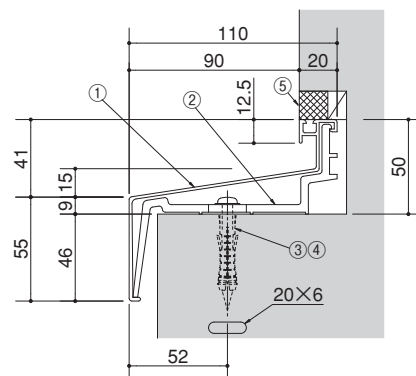
スナップ式ワンタッチ取付

工期を短縮し、誰にでもたやすく取り付けられる独自の嵌合方法は現場での加工を不要にしました。

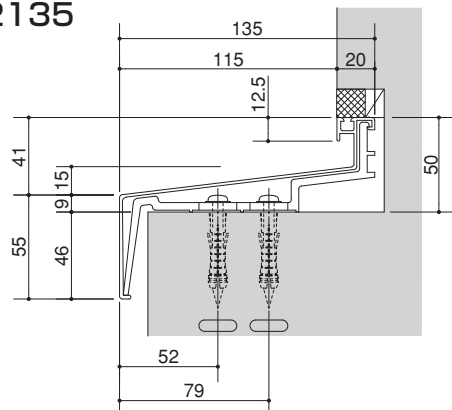
ラインナップ

R2110

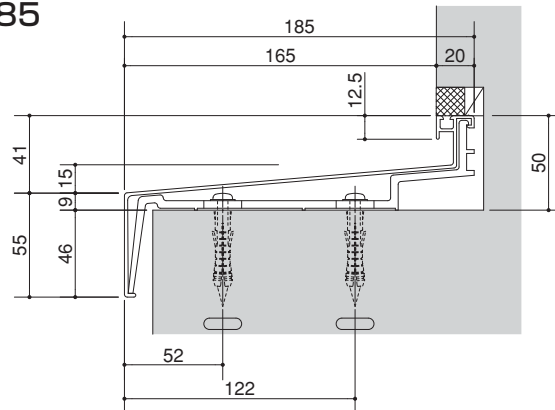
- ① 水切り笠木
- ② ブラケット
- ③ 木ねじ (φ5.5×56)
- ④ アンカープラグ (φ8×40)
- ⑤ コーキング (別途)



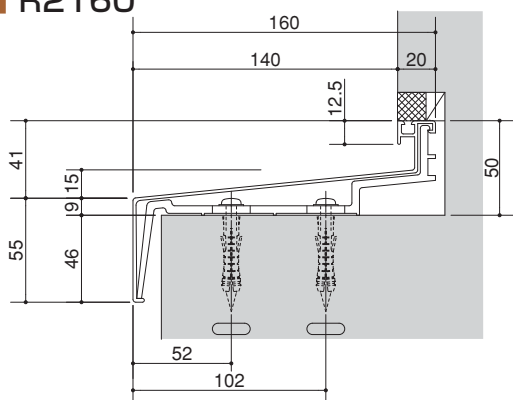
R2135



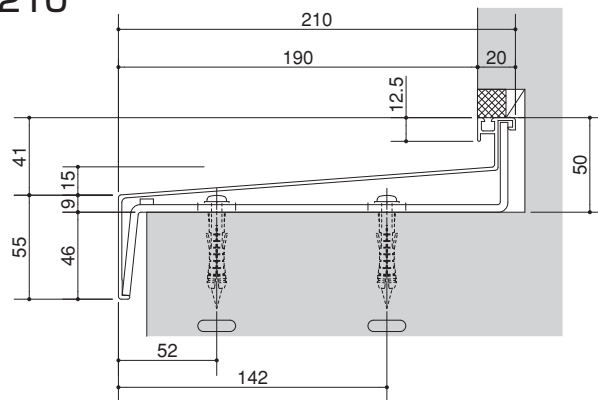
R2185



R2160

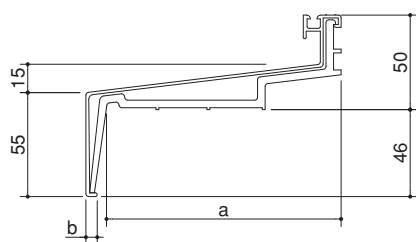


R2210



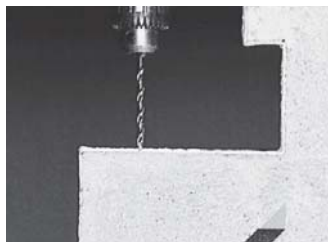
※R曲げ仕様はP48をご参照ください。

仕様



直線部材	製 品 名	R2110	R2135	R2160	R2185	R2210	セット明細	
	a 寸 法	100	124	149	174	199	1本	
	b 寸 法	6	6	6	6	6		
	板 厚	1.5	1.5	1.6	1.7	1.8		
	長 さ	3,000						
コーナ－	呼称(出隅)	RD2110	RD2135	RD2160	RD2185	RD2210	1コーナ－	
	呼称(入隅)	RI2110	RI2135	RI2160	RI2185	RI2210		
	寸 法	500×500						
	部品箱	呼称(定尺)	RB2110	RB2135	RB2160	RB2185		
呼称(コーナ－)	木ネジ	6本						
							ジョイント	1個
							アジャスタベース	12個
							アンカープラグ	6本

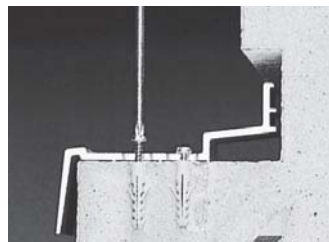
取付手順



1

墨出しに基づき、各ブラケットの取付位置（芯々：マーキング）に電動ドリルで2ケの穴を躯体にあけます。深さ=60 ドリル径=φ8

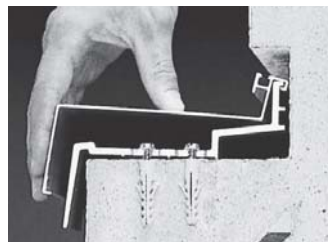
※躯体かき込み寸法は全タイプ共通 68mm×25mmとします。



2

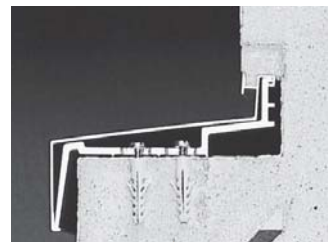
各穴にアンカープラグを入れた後、ブラケットをセットし、専用ネジをドライバーで躯体に取り付けます。

躯体が一定でない場合は、アジャスタ・ピースを状況に合わせてご使用ください。



3

水切は写真のように、ブラケットにひっかけ、上から押し込むようにスナップオンさせます。



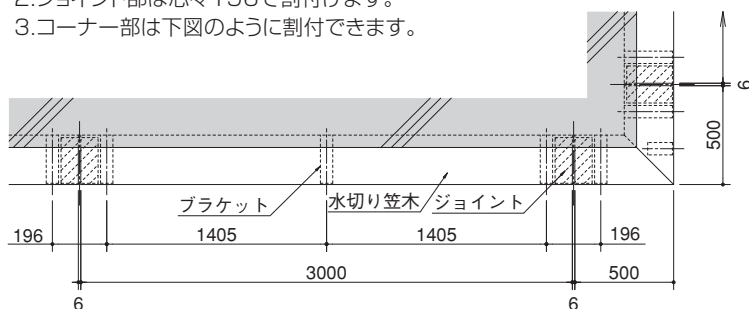
4

パチンと音がすれば取付完了です。取付完了後、バックアップ材を入れコーキングをすれば全て終了です。（コーキング別途工事）

割 付

ブラケット

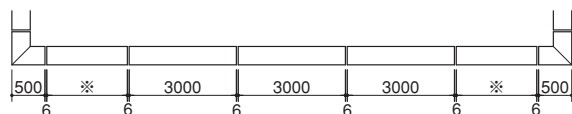
1. 定尺部のブラケットは1405ピッチ（定尺3000に3ケ）で割付けます。
2. ジョイント部は芯々196で割付けます。
3. コーナー部は下図のように割付できます。



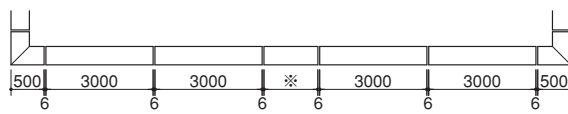
水切り（直線部・コーナー部）

1. 最初に各コーナー部や役物部を割付けます。
2. 直線部の割付。

割付例A: センターから両サイドへ定尺で割付け、両端に端数を等しく割付ける。



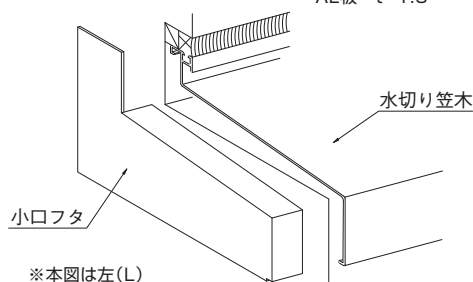
割付例B: 両端からセンターに向かい定尺で割付け、センターに端数部材を割付ける。



オプションパーツ

小口フタ ■ PF2110~2210R・L

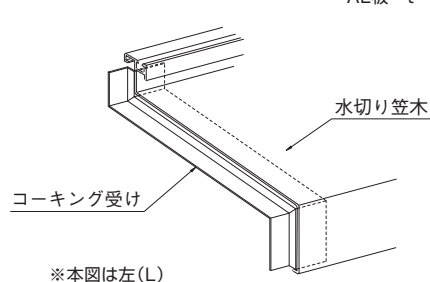
AL板 t=1.0



※本図は左(L)

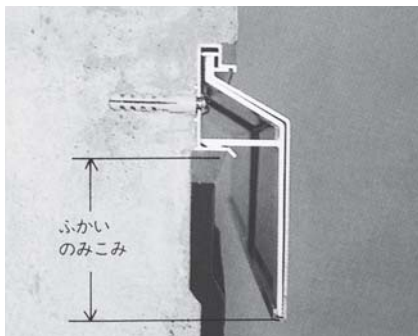
コーキング受け ■ PC2110~2210R・L

AL板 t=1.0



※本図は左(L)

水切り



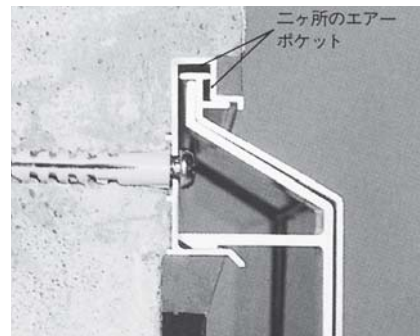
ノーシーリング

のみ込みの深い納まりが防水層端部を保護します。



ワンタッチで嵌合

独自のスナップ式で嵌合しやすく、熱膨張を吸収します。

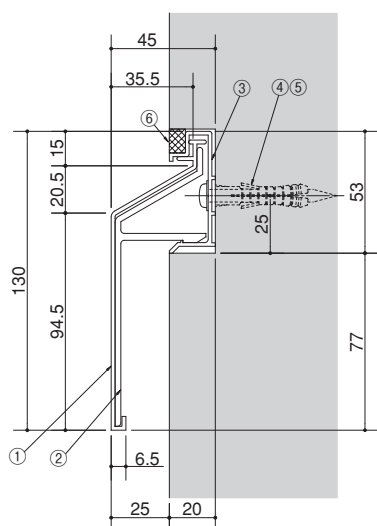


独自の雨仕舞い

独自の嵌合方式が、安定した納まりと2ヶ所のエアポケットを実現しました。

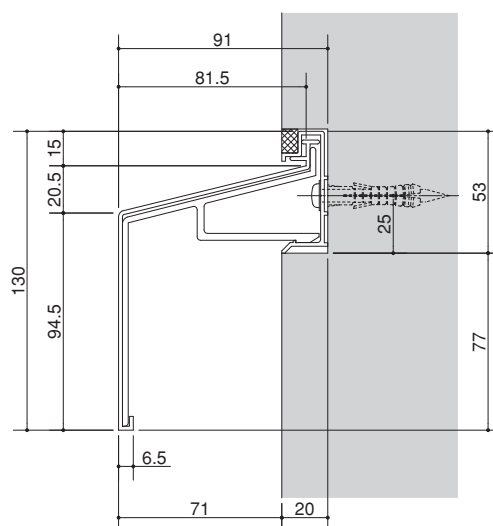
ラインナップ

■ R1345

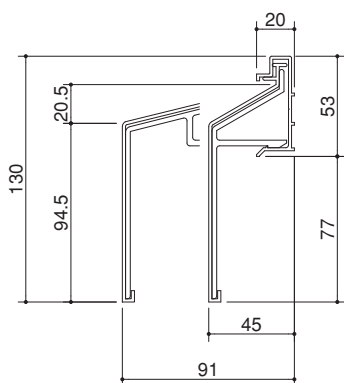


- ①水切板
- ②ブラケット
- ③水切受
- ④木ねじ(φ5.5×56)
- ⑤アンカープラグ(φ8×40)
- ⑥コーキング(別途)

■ R1391



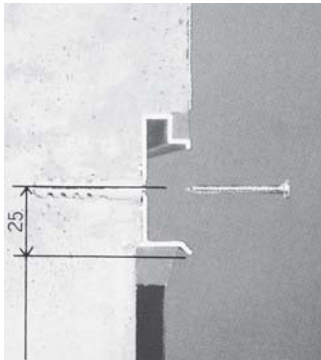
仕様



※コーナーは()の数量

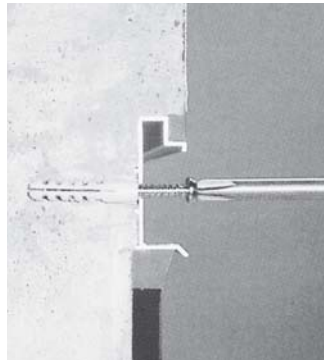
直線部材	製品名	R1345	R1391	R1345-R1391セット明細	
	長さ	3,000	3,000	水切受1本 水切板1本	
	板厚(水切受)	1.6	1.6		
コーナー	板厚(水切板)	1.7	1.7		
	呼称(出隅)	RD1345	RD1391	水切受1コーナー 水切板1コーナー	
	呼称(入隅)	RI 1345	RI 1391		
	寸法(水切受)	250×250	250×250		
部品箱	寸法(水切板)	300×300	300×300	ブラケット 3(2) ジョイント 1(1) アンカープラグ 9(4) 木ネジ 9(4) アジャスターピース 16(8)	
	呼称(定尺)	RB1345	RB1391		
	呼称(コーナー)	RCB1345	RCB1391		

取付手順



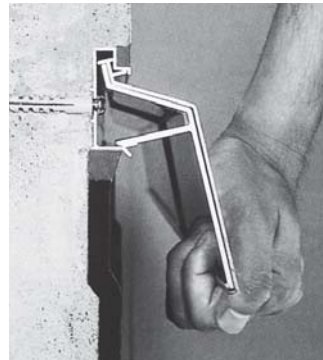
1

取付位置は防水材の立上り寸法+25mmの位置に墨打ちします。取付穴は墨打位置に水切受を当て長穴のセンターでマーキングしていく。(始めはコーナーより)



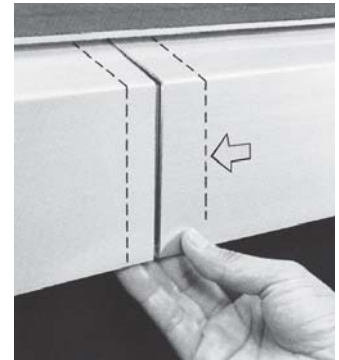
2

マーキング部にドリルで穴開けし(深さ=60mm ドリル径φ8mm)水切受は各穴にアンカーブラクを入れた後、専用ねじで取り付けます。(ネジは8分目に締める)



3

定尺部はブラケット、ジョイントを水切板にセットし、写真の様に嵌合します。※コーナー部の水切板は側面よりブラケットを挿入し取り付けます。

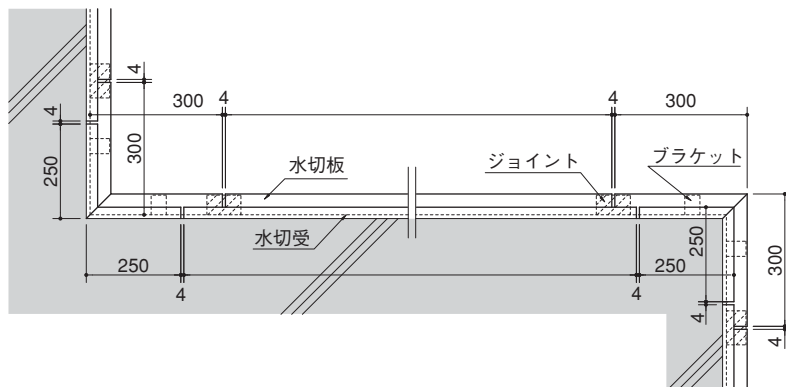


4

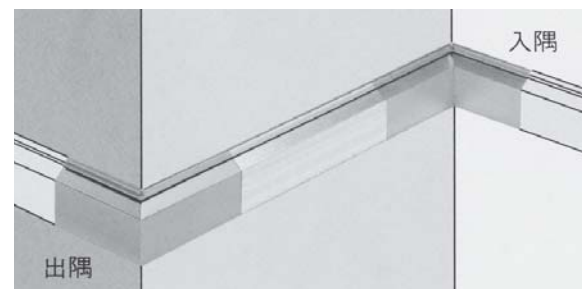
水切板の取付後、ジョイントは水切板の目地の中心部に移動させて、取付完了となります。(コーキング別途工事)

割 付

※R1345・R1391



出入隅コーナー仕様



■水 切 受

ジョイント部の目地4mmを取り、コーナー部(250×250)より割付、端数部材は片側に割付可能。

■水 切 板

ジョイント部の目地4mmを取り、コーナー部(300×300)より割付、水切受の目地と水切板の目地は50mm離す。

■ブラケット

定尺3000の水切板に3ヶ、水切板コーナーに2ヶで割付けます。

■ジョイント

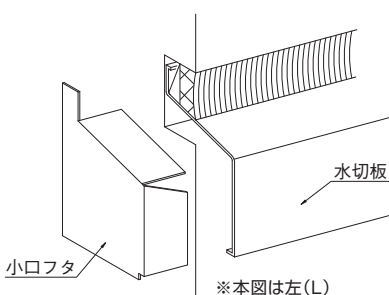
水切板の目地部に取り付けます。

オプションパーツ

小口フタ

F1345・1391R・L

AL板 t=1.0

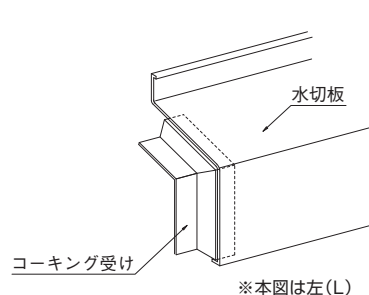


※本図は左(L)

コーキング受け

C1345・1391R・L

AL板 t=1.0

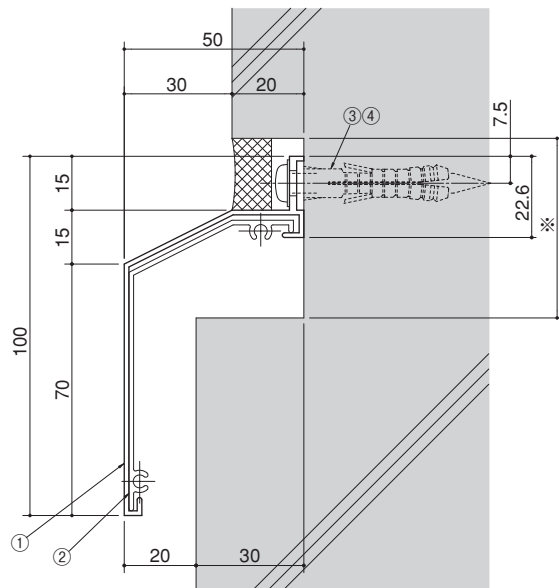


※本図は左(L)

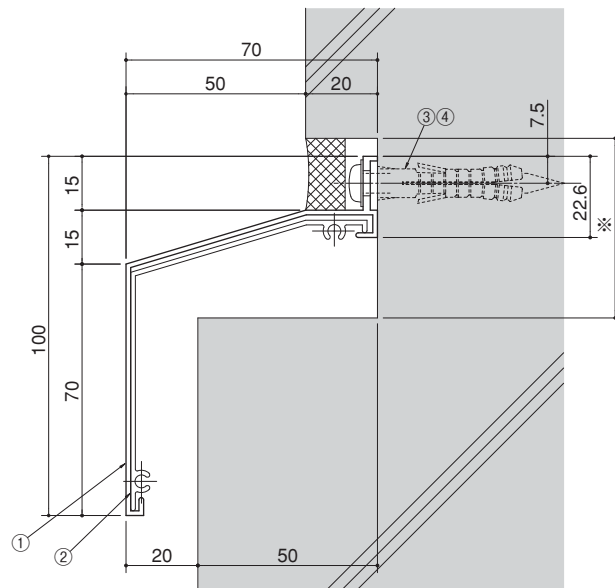
水切り [一体型]

ラインナップ

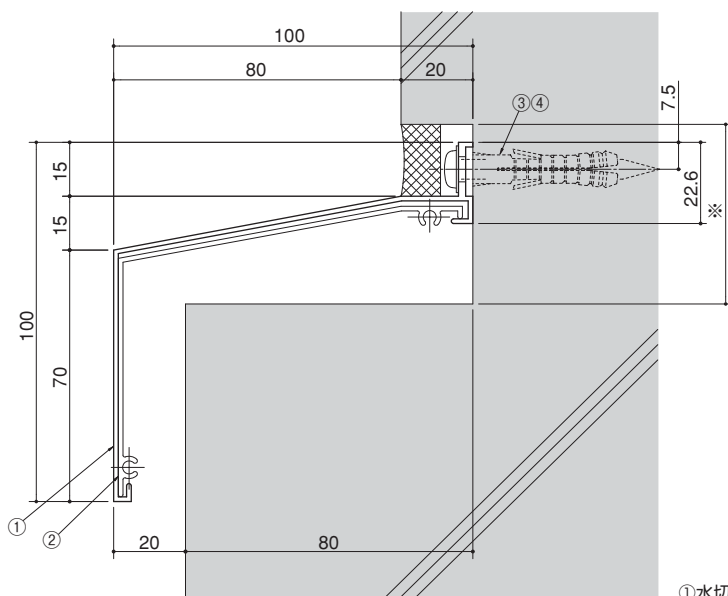
■ R1050 (受注生産)



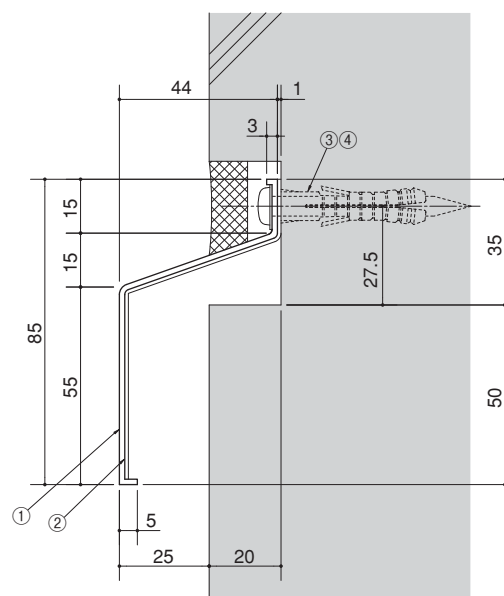
■ R1070 (受注生産)



■ R1010 (受注生産)



■ R8544

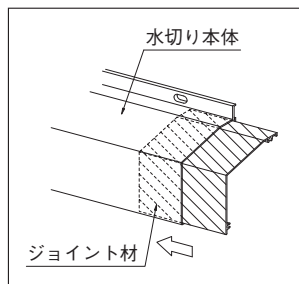


- ①水切本体
- ②ジョイント材
- ③木ねじ(φ5.5×56)
- ④アンカープラグ(φ8×40)

仕様

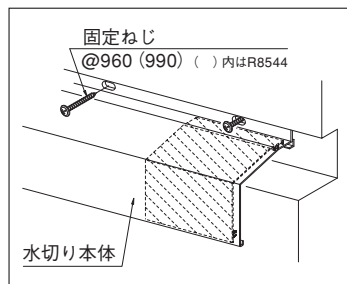
水切り本体 直角コーナー	製品名	R1050	R1070	R1010	R8544	ジョイント材(L=100) 1個 木ねじ(φ5.5×56) 4本 アンカープラグ(φ8×40) 4本 アジャスター・ピース※ 8個 ※R8544にはアジャスター・ピースは同梱されていません。
	長さ	3,000	3,000	3,000	3,000	
	板厚	1.3	1.3	1.3	1.5	
	出隅記号	RD1050	RD1070	RD1010	RD8544	
	入隅記号	RI 1050	RI 1070	RI 1010	RI 8544	
	寸法	300×300	300×300	300×300	300×300	

取付手順



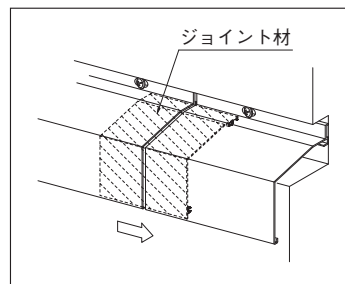
1

水切り本体にジョイント材を差し込んでおきます。



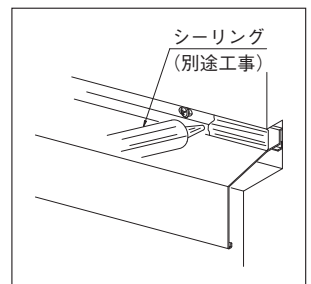
2

水切り本体を、固定ねじで固定します。



3

ジョイント材を目地部のセンターに移動させます。

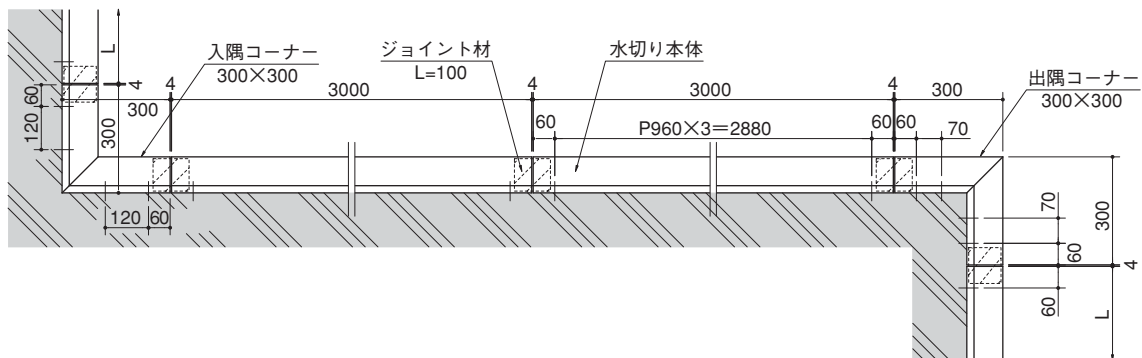


4

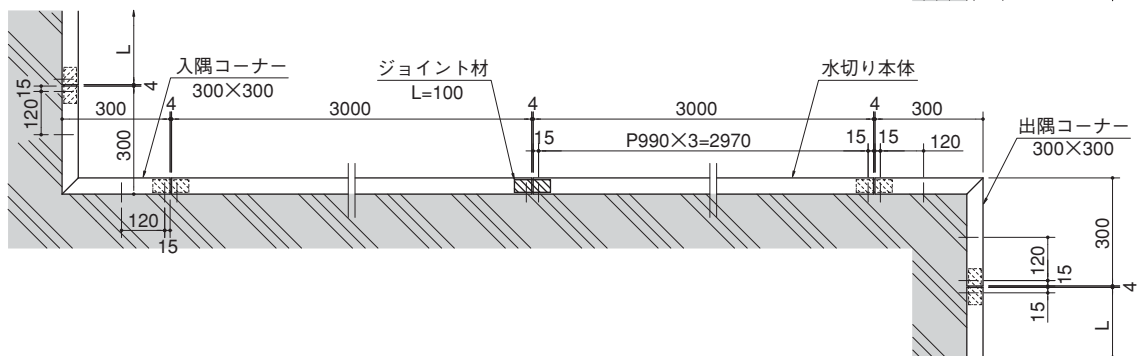
シーリング(別途工事)をし、取付完了です。

割 付

R1050・1070・1010



R8544

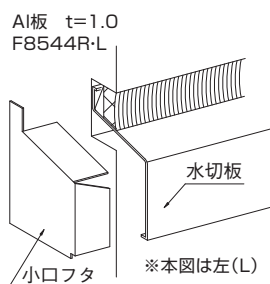
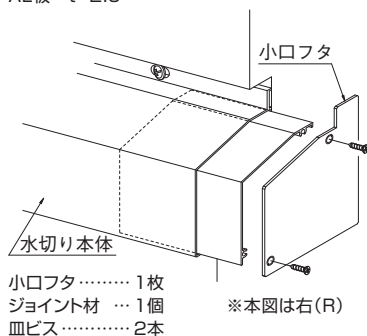


オプションパーツ

小口フタ

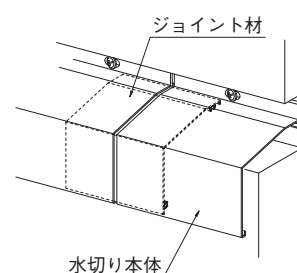
F1050・1070・1010R・L

AL板 t=2.0



ジョイント材

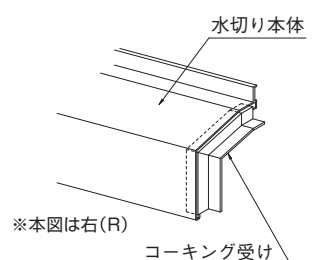
J1050・1070・
1010・8544



コーキング受け

C1050・1070・1010・
8544R・L

AL板 t=1.0



下端水切り

◆取付方法のマルチ化!

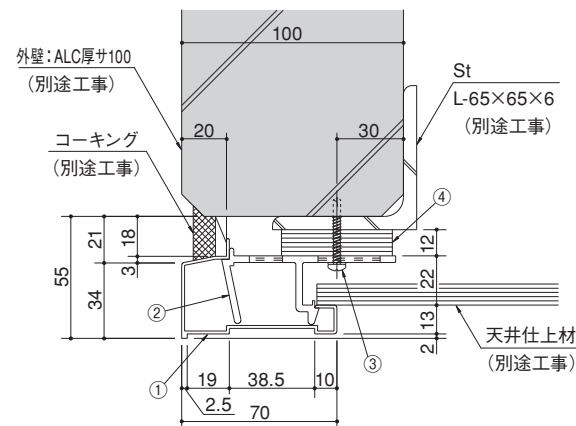
構造体を選ばずに取り付けできます。
アジャスタ・ピースを標準装備しました。標準工具での取り付けが可能です。

◆R曲げ仕様がシャープな仕上りに!

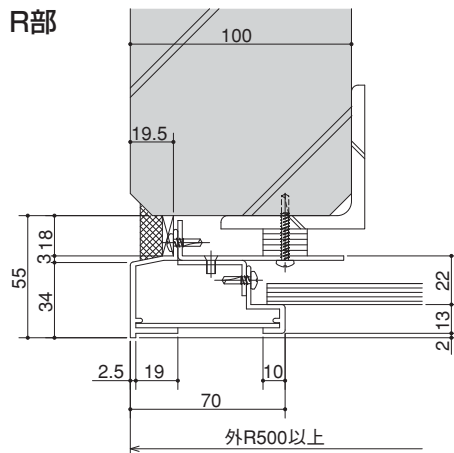
乾式組立構造(溶接なし)を実現しました。R部と直線部は、デザインを統一。

ラインナップ

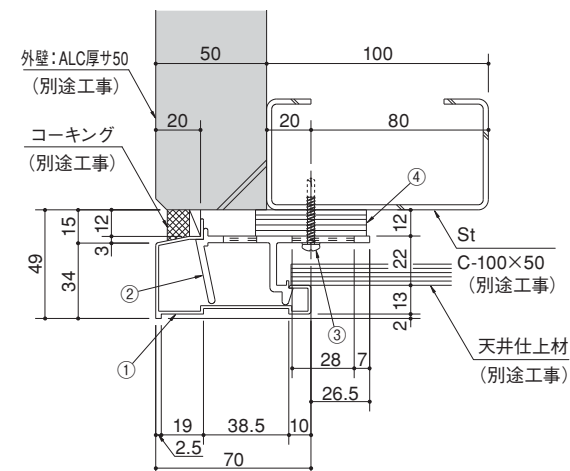
■ UR0755



①本体 ②ブラケット ③固定ビス4×30 ④アジャスタ・ピース

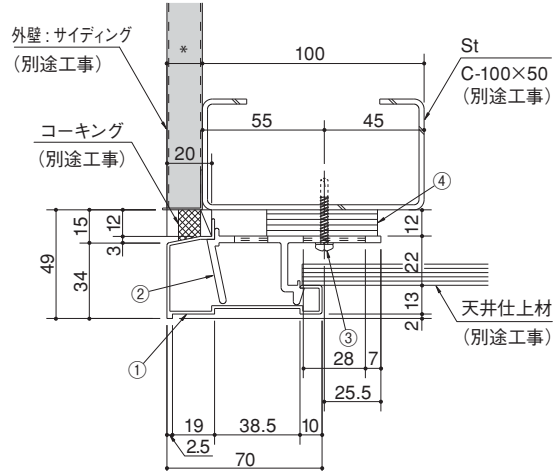


■ UR0755 躯体別納まり ALC



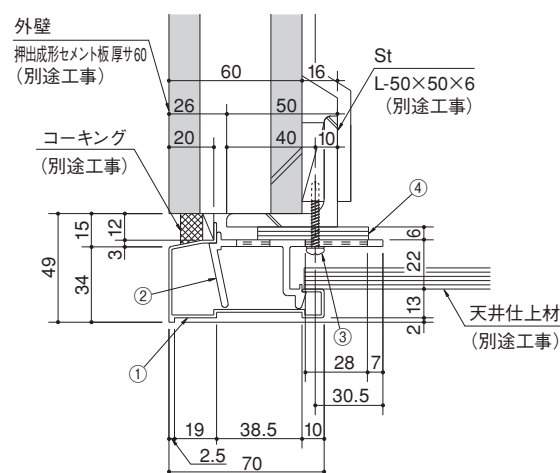
①本体 ②ブラケット ③固定ビス4×30 ④アジャスタ・ピース

サイディング



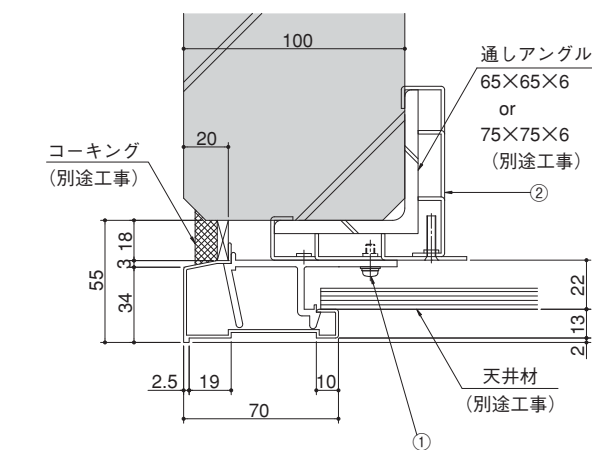
①本体 ②ブラケット ③固定ビス4×30 ④アジャスタ・ピース

押出成型セメント板



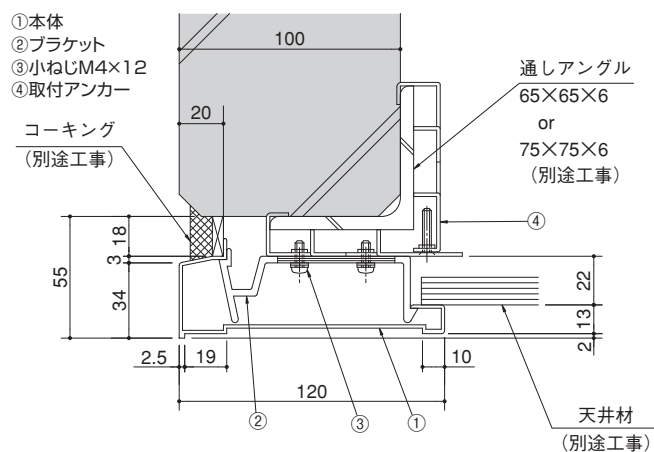
①本体 ②ブラケット ③固定ビス4×30 ④アジャスタ・ピース

■ UR0755(アンカー仕様)オプション

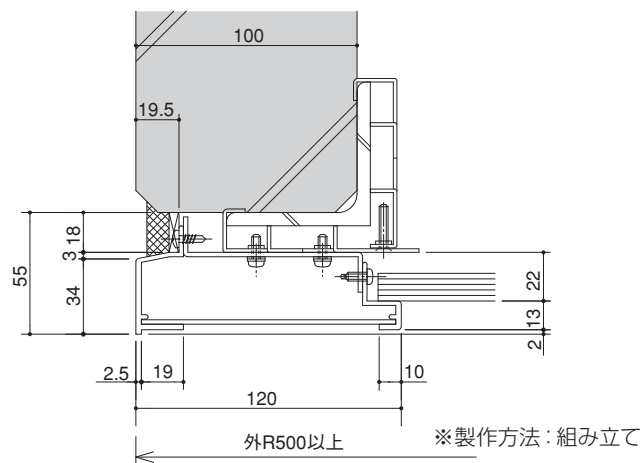


①小ねじM4×12(オプション) ②取付アンカー(オプション:URAK0755)

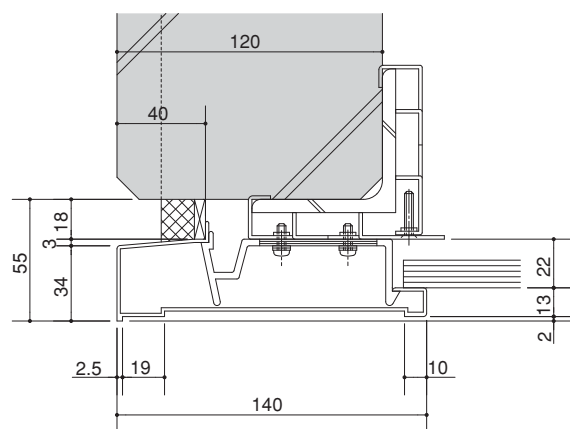
■ UR1255(アンカー仕様)



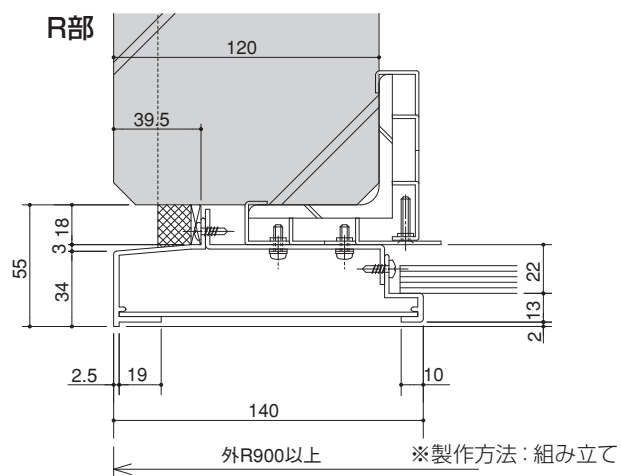
R部



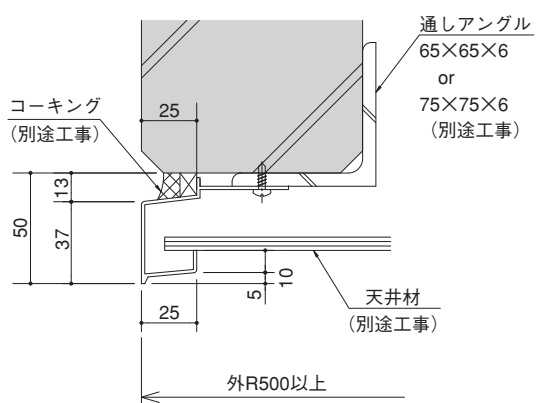
■ UR1455(アンカー仕様)



R部



■ UR0250

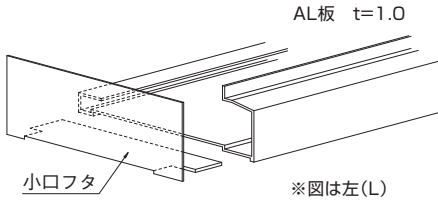


下端水切り

オプションパーツ

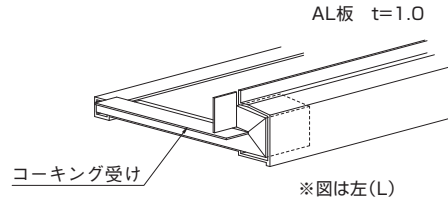
小口フタ

F0755・0250・1255・1455 R・L



コーキング受け

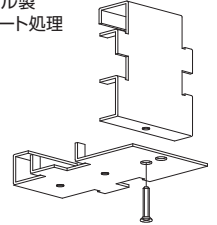
C0755・1255・1455 R・L



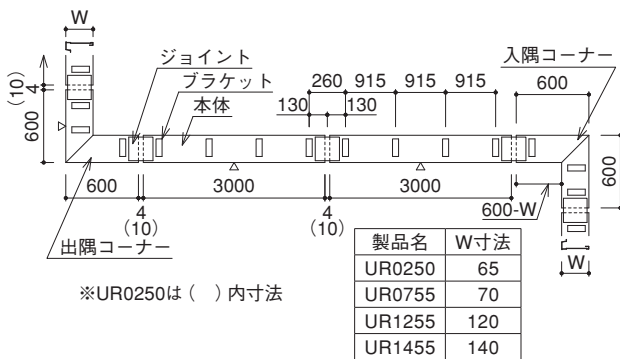
アングル取付アンカー

URAK0755

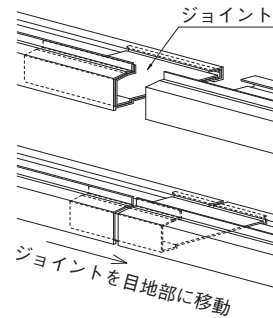
スチール製
クロメート処理



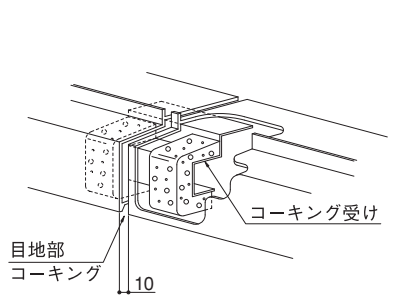
割付・ジョイント部詳細



●UR0755・1255・1455

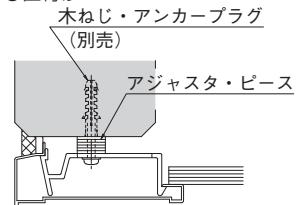


●UR0250



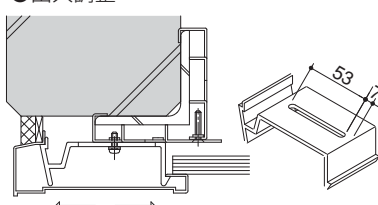
参考納まり例 (UR1255・1455)

●直付け



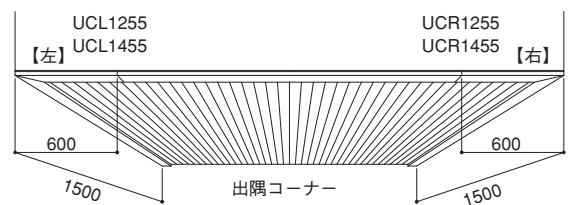
直付け(専用の取付アンカーを使用しない場合)の場合は、図の様にアジャスタ・ピースで高さを調整した後、木ねじとアンカープラグ(別売り)でブラケットを固定し取り付けます。

●出入調整



外壁仕上面に対する出入の調整は、ブラケットの長穴を利用してください。

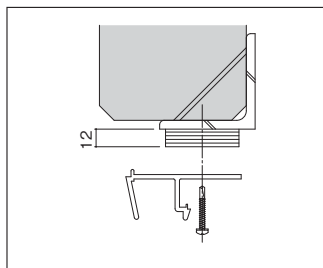
左右の見方 (UR1255・1455)



UR1255・1455の出隅コーナーは、600×600と600×1500(上図)の2種類。施工現場に合わせお選びください。左右は上図にてご確認ください。

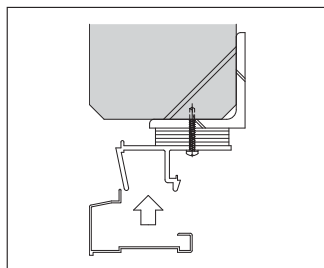
取付手順

UR0755



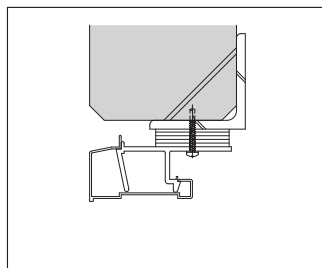
1

付属のアジャスタ・ピースで高さ調整をおこない、ブラケットを付属のドリルねじ(4×30)で取り付けます。



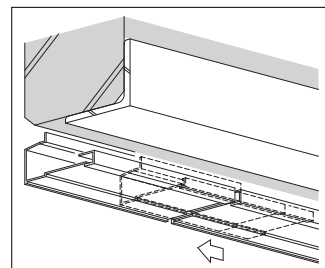
2

あらかじめジョイントを端部に入れ込んだ本体をブラケットに押し込み、嵌め合わせます。



3

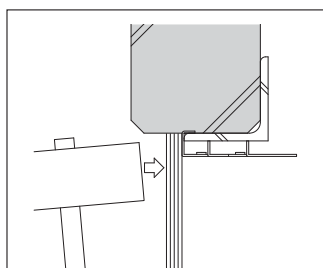
本体がブラケットに確実に嵌め合わせたことを確認してください。



4

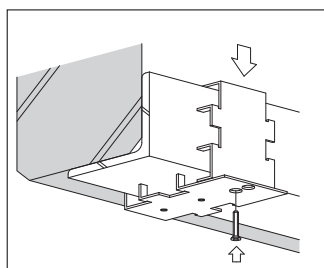
ジョイントの中央部分を本体の目地部にスライドさせて合わせます。(コーキング別途工事)

UR1255・1455



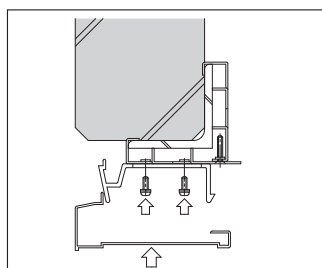
1

構造用アングルに取付アンカーAを引っ掛け、木ハンマーで打ち込みます。



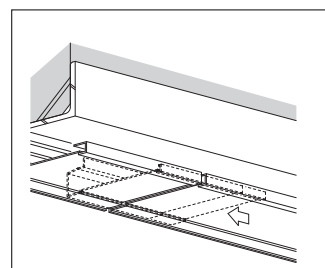
2

アングルの寸法に合わせ、取付アンカーBの位置を決め、木ハンマーで打ち込みます。付属の皿小ねじ(M4×20)で、取付アンカーAとBを締め込みます。



3

取付アンカーに、付属のなべ小ねじ(M4×12)でブラケットを固定します。あらかじめ、本体端部にジョイント材を入れ込んでおき、本体をブラケットに押し込み嵌め合わせます。



4

最後にジョイント材の中央部分を、本体の目地部にスライドさせて合わせます。

仕 様

製品記号		UR0755	UR0250	UR1255	UR1455	セット明細
仕様	厚 さ	1.3	1.5	1.5	1.5	1本
	長 さ	3,000	3,000	3,000	3,000	
コーナー部 製品記号	出 隅	UCD0755	UCD0250	UCD1255	UCD1455	1コーナー (600×600)
	入 隅	UCI0755	UCI0250	UCI1255	UCI1455	
	出隅左	—	—	UCL1255	UCL1455	1コーナー (600×1500)
	出隅右	—	—	UCR1255	UCR1455	
部品箱記号	直線部材用	BUR0755	本体に同梱	BUR1255	BUR1455	下表参照
	コーナー部材用	BUC0755	本体に同梱	BUC1255	BUC1455	

部品箱記号／製品記号		BUR0755	BUC0755	UR0250	UCD0250 UCI0250	BUR1255	BUC1255	BUR1455	BUC1455
部品明細	ブラケット	4ヶ	3ヶ	—	—	4ヶ	3ヶ	4ヶ	3ヶ
	ジョイント	1ヶ	1ヶ	—	—	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
	アンカー・取付金具	—	—	—	—	4セット	3セット	4セット	3セット
	SUS小ねじ M4×12	—	—	—	—	8本	6本	8本	6本
	アジャスタ・ピース	24ヶ	18ヶ	—	—	16ヶ	12ヶ	16ヶ	12ヶ
	コーキング受け	—	—	1ヶ	1ヶ	—	—	—	—
	SUSテクスビス 4×25	—	—	6本	4本	—	—	—	—
	SUSテクスビス 4×30	4本	3本	—	—	—	—	—	—
	SUSワッシャー	4ヶ	3ヶ	6ヶ	4ヶ	—	—	—	—

R付下端水切り

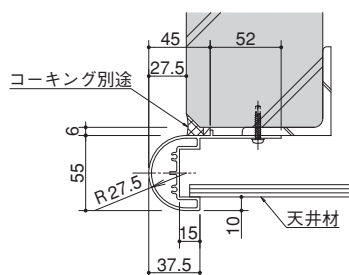
〈受注生産〉



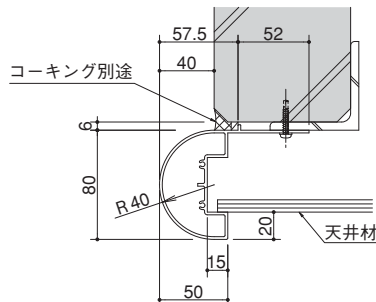
- 従来の下端にR形状帯を付加することにより、意匠性、デザイン性、さらには高級感、オリジナルイメージを付加できます。
- 下地に本体を直接ビス止めします。このため施工性がよく、工期の大幅短縮を実現します。

ラインナップ

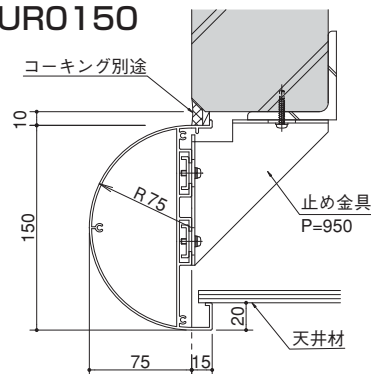
UR0055



UR0080



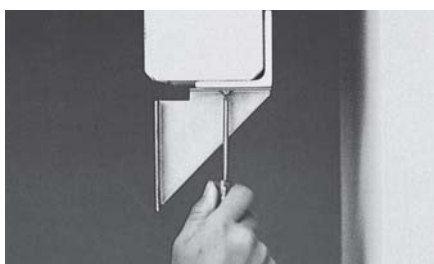
UR0150



※R曲げ仕様はP49をご参照下さい。

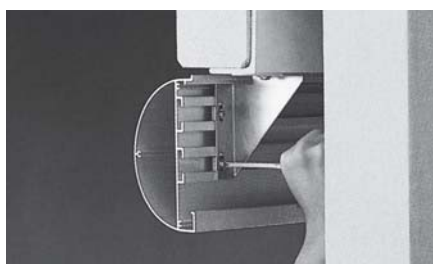
取付手順

UR0150



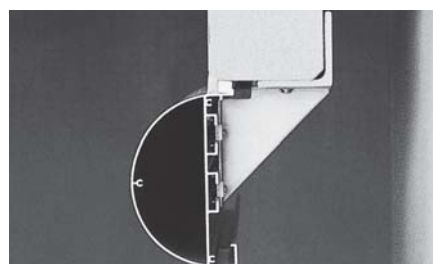
1

割付図に基づき取付金具をねじ止めします。



2

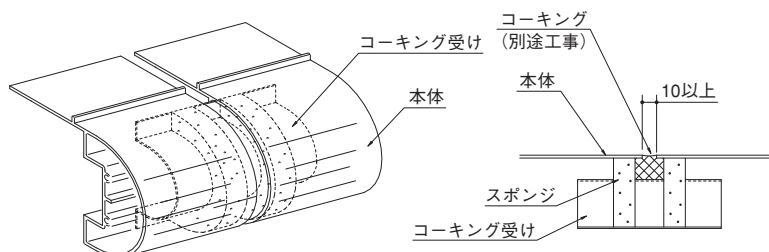
本体レール部にアングルナットを通しM4ビスで本体を固定します。



3

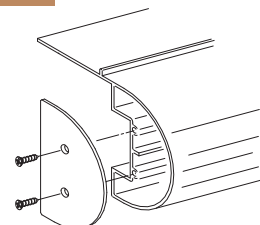
コーキング(別途工事)をして完了です。

ジョイント部詳細



オプションパーツ

小口フタ F0055・F0080・F0150
AL板 t=2.0



仕様

● UR0055・UR0080

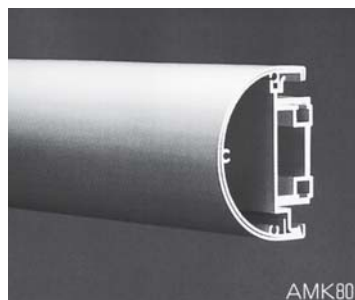
	製品名	本体L寸法	コーキング受	部 品
直線部材	UR0055 UR0080	L=3000 (1本)		テクスビス 6本 平座金 6ヶ
出隅コーナー	UCD0055 UCD0080	300×300 (1ヶ)	1ヶ	テクスビス 4本 平座金 4ヶ
入隅コーナー	UCI0050 UCI0080			

● UR0150

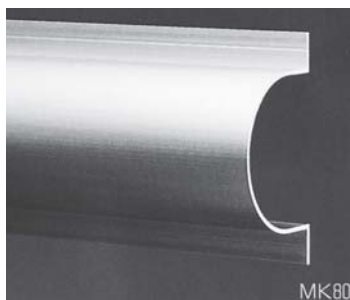
	製品名	本体L寸法	コーキング受	部 品
直線部材	UR0150	L=3000 (1本)		取付金具 4ヶ アングルナット 8ヶ 小ねじ 8本 テクスビス 4本 平座金 4ヶ
出隅コーナー	UCD0150	300×300 (1ヶ)	1セット	取付金具 2ヶ アングルナット 4ヶ 小ねじ 4本 テクスビス 4本 平座金 4ヶ
入隅コーナー	UCI0150			

見切りカバー

〈受注生産〉



AMK80



MK80

パラカサ後付け見切りカバー

- 化粧前カバーと下端水切りとの同一デザインにより建築物に一体感や統一感を演出できます。
- 後付けタイプのため、見切りカバーからの漏水の心配はありません。
- ベースのレベル出し機構により、レベル出しが簡単で施工性が向上します。

パラカサ見切りカバー

- 化粧前カバーと下端水切りとのデザインにより建築物に一体感や統一感を演出できます。
- 取付けは簡単なビス止め形式です。

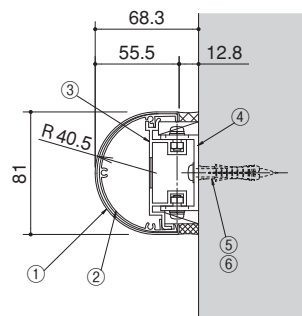
パラカサ見切りカバーコーキング受け

- 目地巾10～20mmに対応します。
- 目地巾21mm以上の時は、別途指示してください。

ラインナップ

後付け見切りカバー

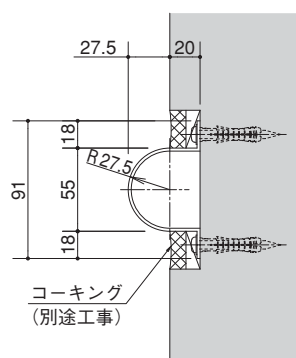
AMK80



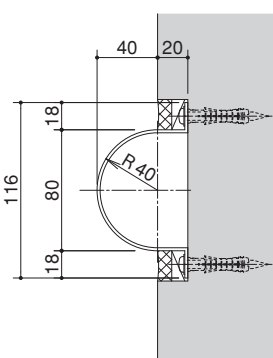
- ① 本体カバーAMK80
- ② ジョイントブラケット(P=600)
- ③ ベース材A(ルーズ孔 20×50)
- ④ ベース材B(L=50 P=725)
- ⑤ 木ねじ(φ5.5×56)
- ⑥ アンカープラグ(φ8×40)

先付け見切りカバー

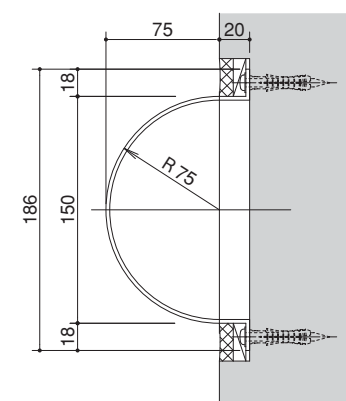
MK55



MK80



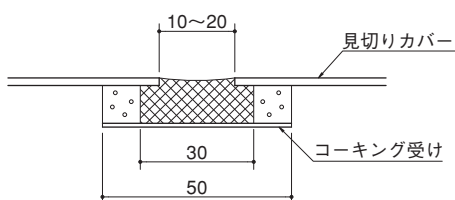
MK150



※R曲げ仕様はP42をご参照下さい。

ジョイント部詳細

MK55・MK80・MK150 目地部



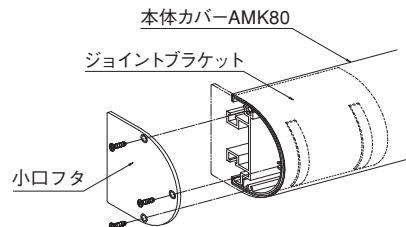
※AMK80は化粧前カバーPKK80用と同様のジョイントです。
コーキング受けは化粧前カバーPKK80用が使用できます(別売)。

オプションパーツ

小口フタ

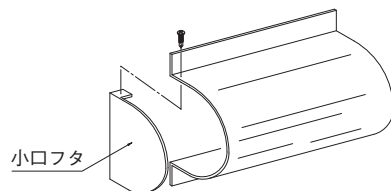
AMKF80

AL板 t=2.0



MKF55・MKF80・MKF150

AL板 t=2.0



仕様

●後付け見切りカバー

	製品名	本体カバー	ベース	ジョイント ブラケット	ネジセット
直線部材	AMK80	L=3000 (1本)	L=3000 (1本)	L=100 (5ヶ)	木ねじφ5.5×56(5本) アンカープラグ φ8×40(5本)
出隅コーナー	AMKD80	300×300 (1ヶ)	L=300×300 (1ヶ)	L=100 (3ヶ)	木ねじφ5.5×56(2本) アンカープラグ φ8×40(2本)
入隅コーナー	AMKI 80	300×300 (1ヶ)	L=300×300 (1ヶ)	L=100 (3ヶ)	木ねじφ5.5×56(2本) アンカープラグ φ8×40(2本)

●先付け見切りカバー

	製品名	本体寸法	セット明細
直線部材	MK55 MK80 MK150	L=3000 (1本)	
出隅コーナー	MKD55 MKD80 MKD150	300×300 (1ヶ)	コーキング受け(1ヶ) 木ねじφ5.5×56(8本) アンカープラグφ8×40(8本)
入隅コーナー	MKI55 MKI80 MKI150		

防水層端部押さえ材

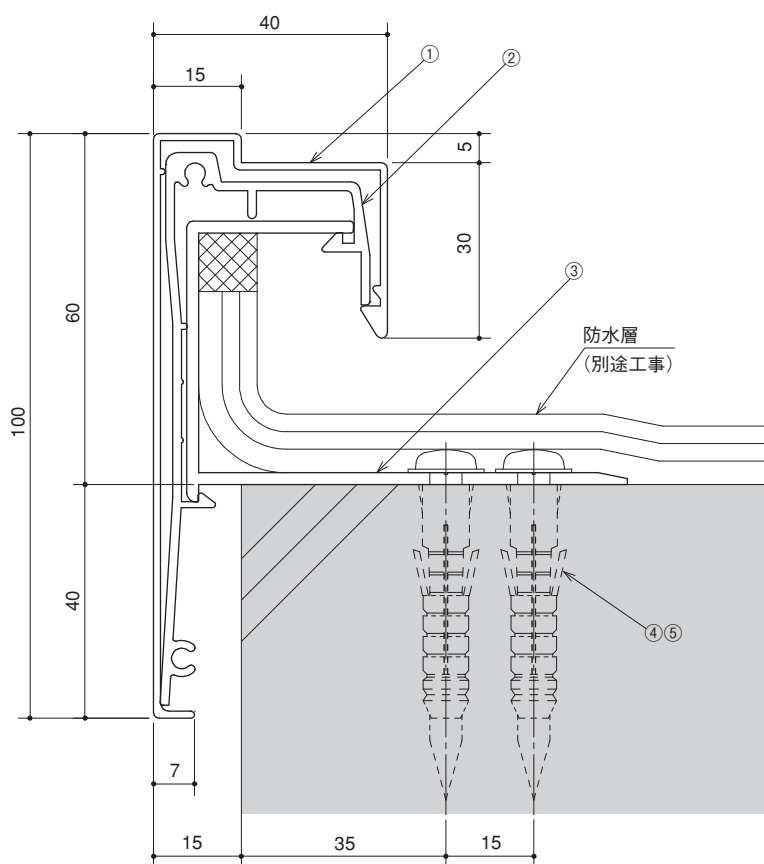
〈受注生産〉



- 様々な防水層の厚さに対応いたします。
- 防水層に穴を開けずに剥離やズレを防ぎます。
- ローコストで短工期を実現する施工性に優れた嵌合方式。
- R曲げ対応が可能。直線部と曲線部の意匠を統一する事が出来ます。
- いつまでもアルミの美しい仕上りを保つ抜群の耐久力。

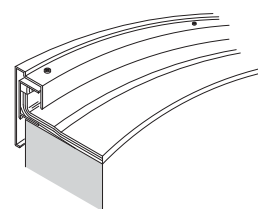
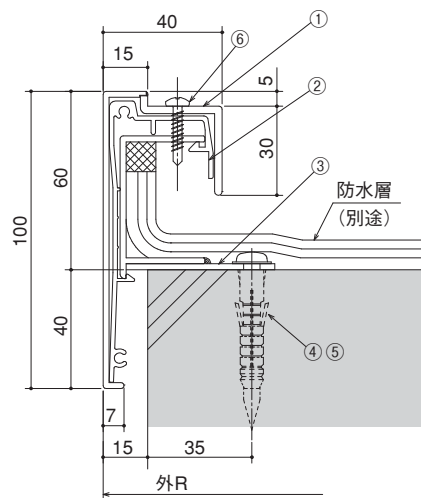
ラインナップ

PT1040



- ①本体カバー
②ジョイントブラケット
③ベース材
④木ねじ(φ5.5×56)
⑤アンカープラグ(φ8×40)P=450(チドリ)

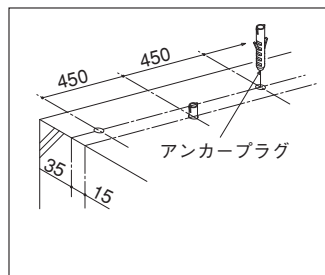
R部



- ①R用本体カバー
②ジョイントブラケット
③R用ベース材
④木ねじ(φ5.5×56)
⑤アンカープラグ(φ8×40)P=450以下
⑥テクスビス(4×20)

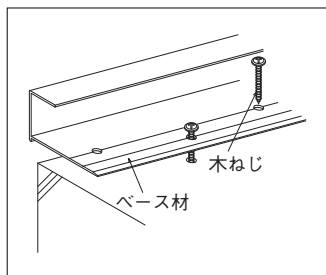
製品名	PTR1040
Rの種類	平面外R
Rの大きさ	R1000以上
円弧の長さ	RL=2000以下

取付手順



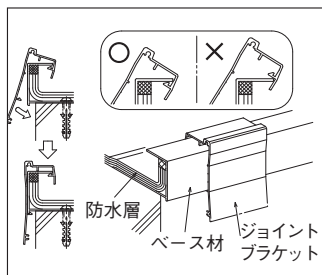
1

墨だしに基づき、ベース材の取付位置に電動ドリルで躯体に穴をあけ、(深さ=50mmドリル径φ8)各穴に付属のアンカープラグを差込みます。



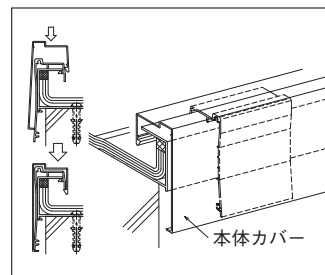
2

先にあけた穴位置にベース材の穴を合せ、付属の木ねじでベース材を固定します。



3

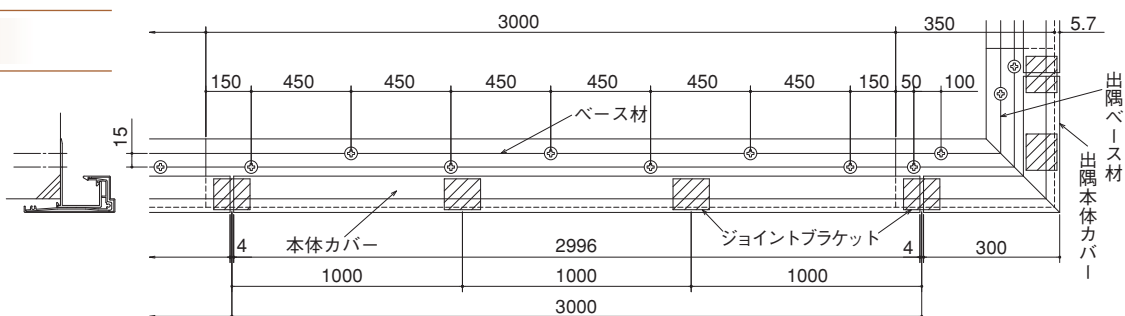
防水層(別途工事)の施工完了後、上図のようにジョイントブラケットをベース材に嵌め合せます。
※ジョイントブラケットは確実にベース材に嵌め合せてください。



4

最後に本体カバーをジョイントブラケットに嵌め合せて施工完了です。

基本割付



施工のポイント

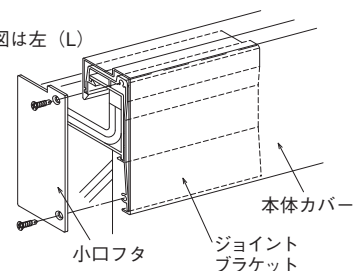
- 躯体のレベルが出されている事を確認してください。
- コーナー及び役物から取り付けます。
- ジョイントブラケットはベース材のジョイント部分を避けて本体カバーの目地センターに取り付けます。中間部は1000mmピッチ以下で取付けてください。
- ベース材の目地はつきつけにし本体カバーの目地は4mmにします。

オプションパーツ

小口フタ

製品記号:PTF 1040R(L)
材質:AL板 t=2.0

図は左(L)



- ※1 皿テクスビス2本同梱
- ※2 現場に合せて切欠加工をしてください。

仕様

製品名		本体カバー (製品記号)	ベース材 (製品記号)
直線部材	PT1040	L=2,996 (HPT 1040)	L=3,000 (BPT 1040)
出隅コーナー	PTD1040	300×300 (HPTD 1040)	350×350 (BPTD 1040)
入隅コーナー	PTI1040	255×255 (HPTI 1040)	350×350 (BPTI 1040)

※ベース材の仕上げはシルバーです

●部品梱包明細

	本 体		ベース材	
直線部用	本体カバー	1本	ベース材	1本
			木ねじ	8本
	ジョイントブラケット	3ヶ	アンカープラグ	8本
コーナー部用	コーナー用本体カバー	1本	アジャスターピース	16ヶ
			ジョイントブラケット	3ヶ
			アンカープラグ	6本
			アジャスターピース	12ヶ

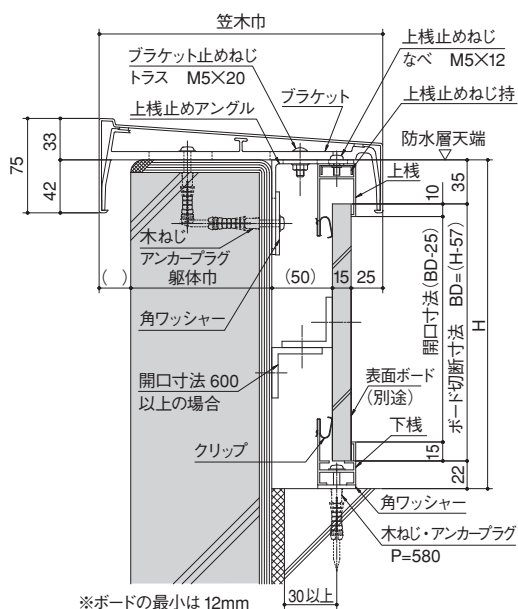
パラマスク[®] [乾式立上部保護工法] 〈受注生産〉



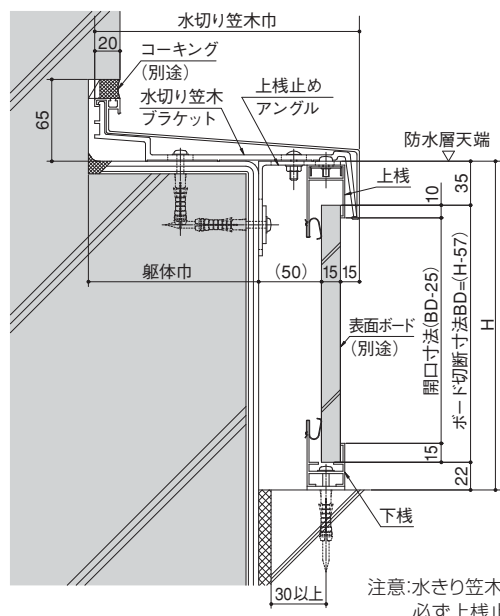
屋上立上部は、笠木に保護された躯体端部に比べ、雨仕舞いや自然環境の影響を受けやすく、建物の劣化をはやめる危険性がありました。RIKENパラマスクは、表面ボードをはめ込むという簡単な施工により、屋上立上部を美しく演出し、しかもパラカサと一体になり、短納期化とともにメンテナンス性にも優れた屋上立上部の防水層を機能的かつ確実に保護する防水層立上部カバーです。

ラインナップ

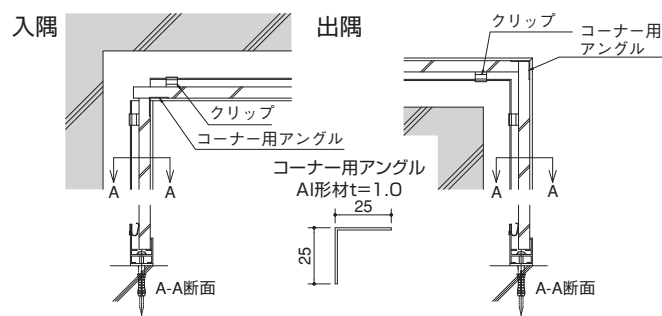
笠木タイプ



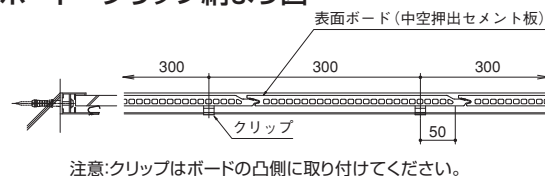
水切り笠木タイプ



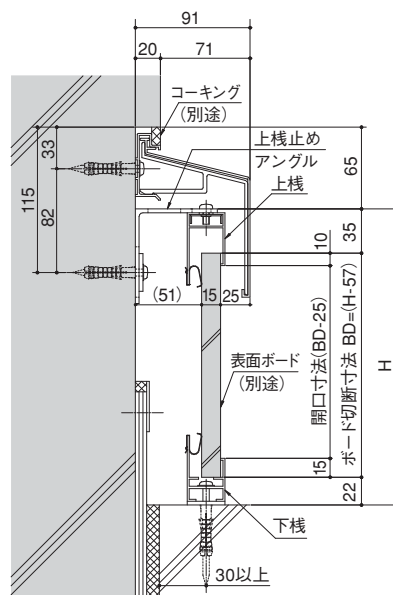
コーナー参考納まり図



ボード・クリップ納まり図



水切りタイプ



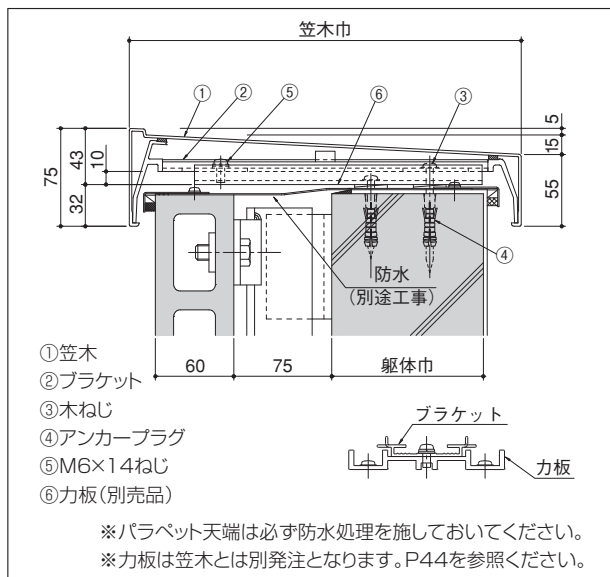
押出成型セメント板用 笠木・水切り

〈受注生産〉

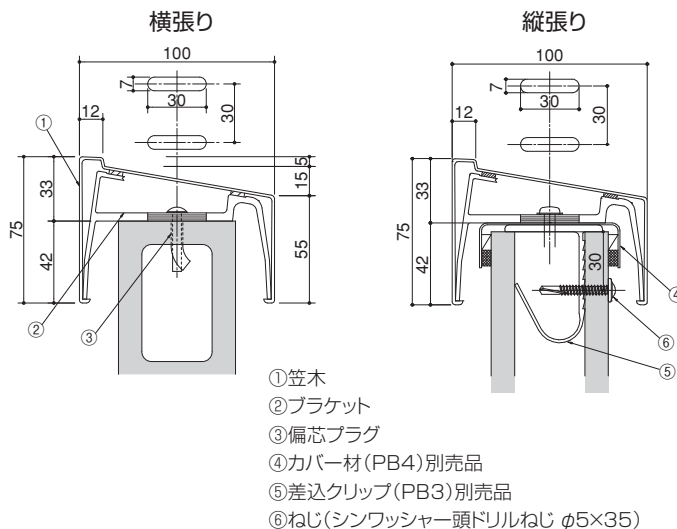
ラインナップ

パラペット上端部

屋上のパラペット笠木は耐久性や意匠性に優れています。二重躯体には理研独自の力板を使用し、躯体側で確実かつスマートな固定が可能。さらに、笠木シリーズに押出成型セメント板専用の100タイプを追加。困難だった縦貼りにも差込クリップで簡単取付を実現しました。



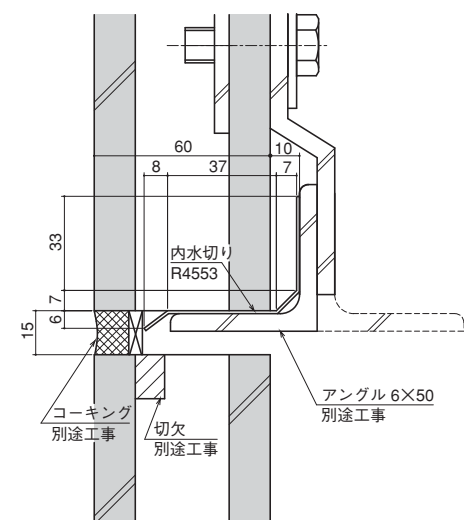
PK100



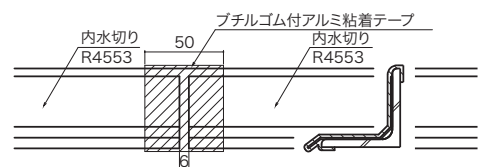
目地部

内水切りにより、押出成型セメント板内に発生した結露水や侵入した雨水を下方へ導き、室内側への侵入をしにくくしています。施工が簡単で、ジョイント部にブチル付アルミテープを貼るだけで、固定できます。また、外水切りを取り付ける事により、建物に高級感を与え、外壁の汚れを防止します。

R4553 縦張り

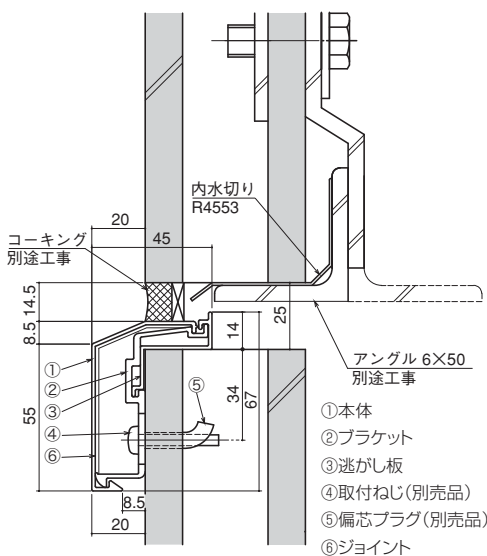


〈ジョイント部〉

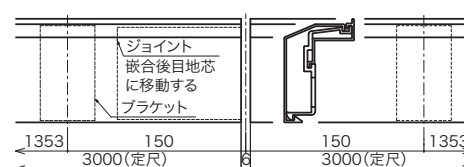


付属のブチル付アルミテープでジョイントしてください。

R4553+R6745 縦張り



〈ジョイント部〉



ジョイント材を本体端部に差し込んだ状態で本体を取付け、目地芯へ移動すればジョイント完了。

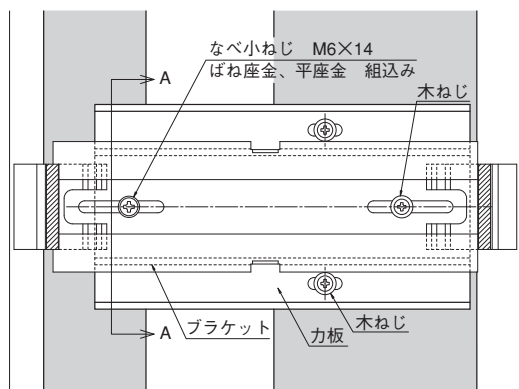
二重壁用 力板

〈受注生産〉

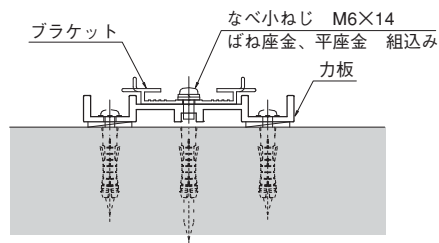


押出成型セメントやALCなどの外壁材の普及にともない、笠木を直接外壁側に固定することが難しくなっている中で、パラカサ二重壁用力板は躯体側での確実かつスマートな固定により、外壁材に依存しない確実な施工を実現します。

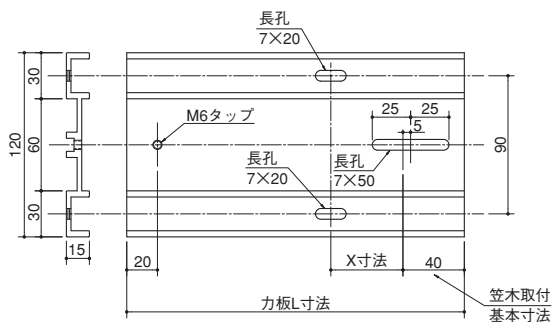
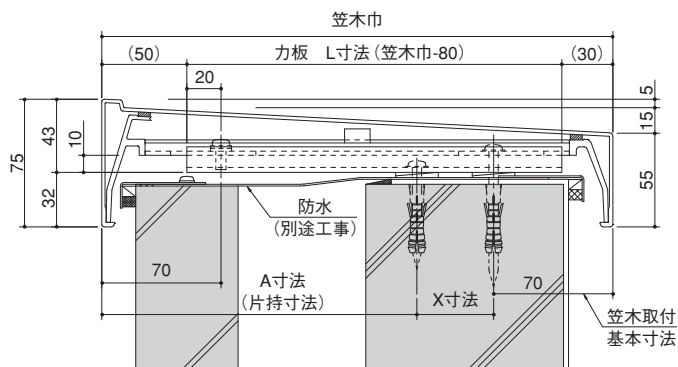
納まり図



A-A 断面図



寸法図



仕 様

製品名	L寸法	A寸法(片持寸法)	X寸法
TPRN250	170	155以下	25以上
TPRN275	195	170以下	35以上
TPRN300	220	185以下	45以上
TPRN325	245	200以下	55以上
TPRN350	270	210以下	70以上

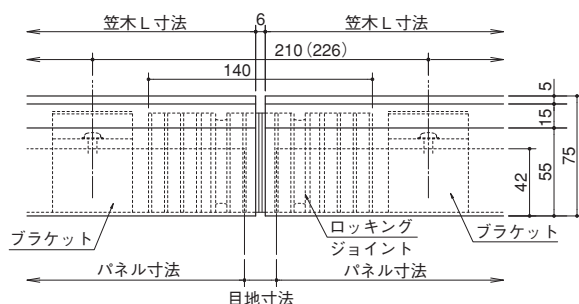
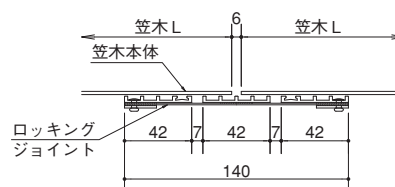
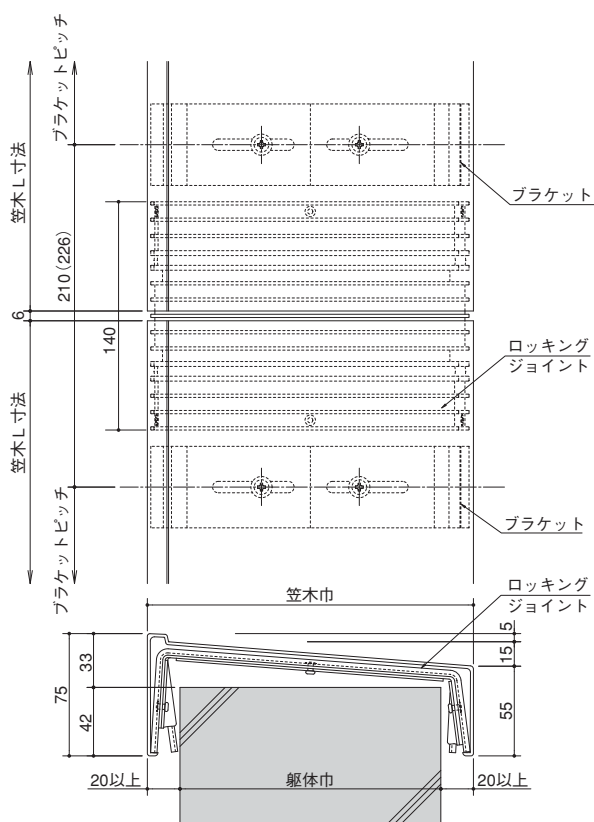
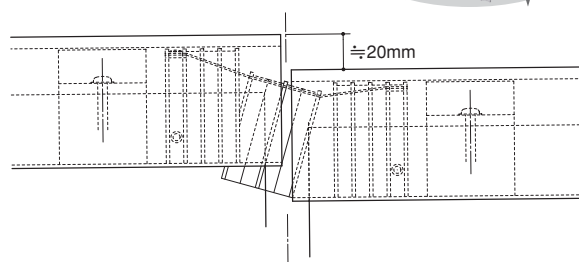
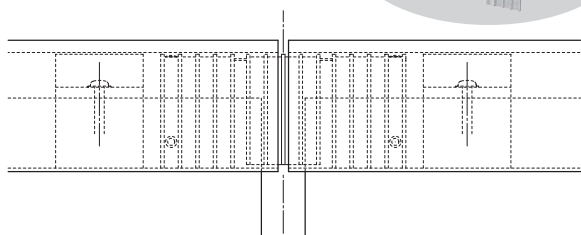
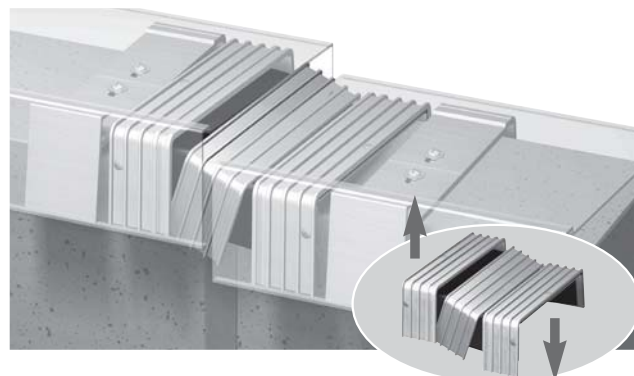
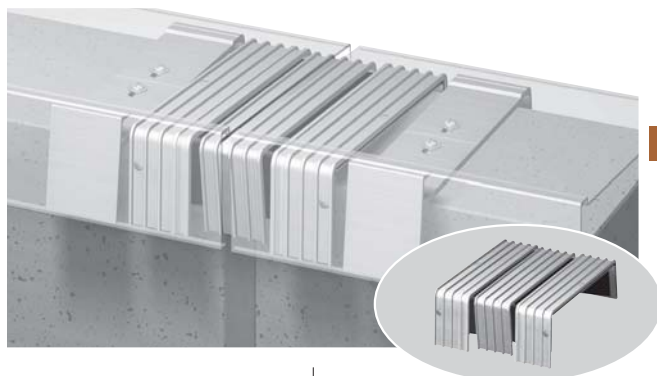
製品名	L寸法	A寸法(片持寸法)	X寸法
TPRN400	320	235以下	95以上
TPRN450	370	305以下	75以上
TPRN500	420	300以下	130以上
TPRN550	470	280以下	200以上
TPRN600	520	260以下	270以上

なべ小ねじ M6×14 ばね座金・平座金組込 1本
木ねじ(φ5.5×80) 1本
アンカープラグ(φ8×40) 1本
アジャスターベース 3ヶ

※X寸法を指示してください。
※笠木部品とは別発注となります。

ロッキング構法対応笠木

- 3分割したジョイント材を耐候性に優れたゴムシートで連結。天端に生じる段差を20mmまで吸収します。
- RIKEN/パラカサ全タイプ(笠木巾100~600mmまで)に対応。
- 取付方法は、笠木本体に嵌合するだけの簡単施工。笠木本体への加工は一切不要です。



※パネルの目地部に笠木のジョイント部がくるように割付して下さい

()内は笠木巾250以上

●ロッキング構法対応笠木製品記号

笠木タイプ	笠木巾W	100	135	150	175	200	225	250	275	300	325	350	400	450	500	550	600
PK(形材)																	
PM(板材)																	
PH(形材)																	

※本体(直線部材・コーナーとも)は通常の笠木と同じです。 ※部品箱記号は通常の部品箱記号に「RK」が付きます。 例: PBNRK200
 ※部品箱の内容物はジョイントがロッキングジョイントになります。その他の部品・部材は通常の笠木と同じです。

技術資料 パラカサ製品仕様

分 類	部 材 名	材 質	材 質 JIS	標準表面処理 JIS
笠 木	笠木本体 100 ～ 400	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	笠木本体 450 ～ 600	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6005C(6N01)S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイント	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ (PF)	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ (PKF)	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
		アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイントカバー	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
棟上導体	ジョイント平角線	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	板ナット	ステンレス	JIS G 4305 に規定する SUS304	
	M8 ボルト	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS304 等	
化粧前カバー	化粧前カバー本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイントブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
水切り笠木	水切り笠木本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイント	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
水切り	水切り本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイントブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
下端水切り	下端水切り本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小ねじ M4	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS XM7 等	
	アンカー・取付金具	スチール	JIS G 3141 に規定する SPCC	JIS H 8610 に規定する Ep-Fe/Zn8/CM
	ジョイント	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	テクスビス	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS410 等	
	ワッシャー	ステンレス	JIS G 4305 に規定する SUS304	
R 付下端水切り	R 付下端水切り本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	取付金具	スチール	JIS G 3141 に規定する SPCC	JIS H 8610 に規定する Ep-Fe/Zn8/CM
	テクスビス	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS410 等	
	ワッシャー	ステンレス	JIS G 4305 に規定する SUS304	
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種

分 類	部 材 名	材 質	材 質 JIS	標準表面処理 JIS
見切りカバー	見切りカバー本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
防水層端部 押え材	本体カバー	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ベース材	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイントブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	テクスビス	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS410 等	
パラマスク	上棧・下棧	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	上棧止めアングル	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	角ワッシャー	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	上棧止めねじ持ち	ステンレス	JIS G 4305 に規定する SUS304	
	ボード止めクリップ	ステンレス	JIS G 4313 に規定する SUS 304-CSP 3/4	
押出成型 セメント板用	水切り本体	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ブラケット	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	逃がし板	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	カバー材 (PB4)	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	差込クリップ (PB3)	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小口フタ	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	コーキング受け	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
二重壁用 力板	力板	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	小ねじ	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS XM7 等	
ロッキング構法 対応笠木	ジョイント材	アルミニウム押出形材	JIS H 4100 に規定する A6063S-T5	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ジョイント裏板	アルミニウム板材	JIS H 4000 に規定する A1100P-H14	JIS H 8602 に規定する A1 種
	ゴムシート	CR (クロール) ゴムシート		
	リベット	アルミニウム合金製リベット		
共通部材	木ねじ	ステンレス	JIS G 4315 に規定する SUS XM7	
	アンカープラグ	ポリアミド		
	アジャスタ・ピース	硬質ポリエチレン		

JIS 規格番号の名称

JIS H 4100	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材
JIS H 4000	アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条
JIS G 4305	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
JIS G 4313	ばね用ステンレス鋼帯
JIS G 4315	冷間圧造用ステンレス鋼線
JIS G 3141	冷間圧延鋼板及び鋼帯
JIS H 8602	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜
JIS H 8610	電気亜鉛めっき

梱 包

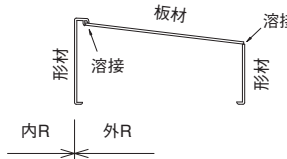
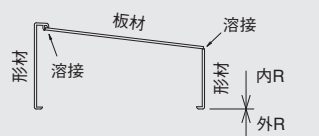
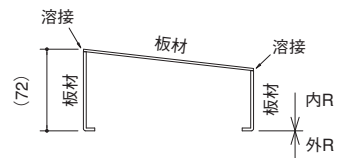
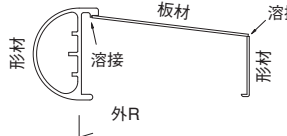
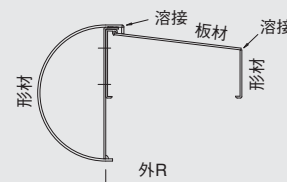
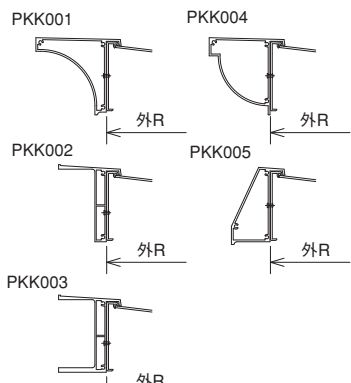
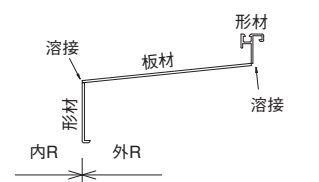
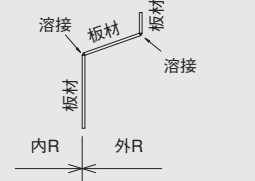
製品は、ダンボール等で厳重に梱包します。

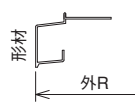
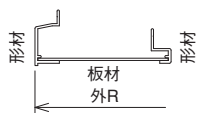
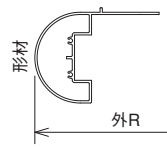
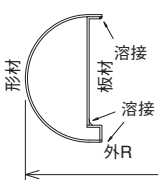
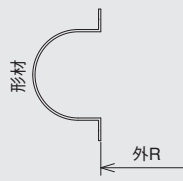
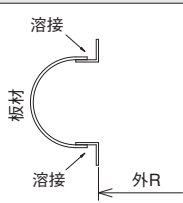
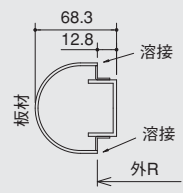
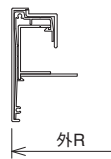
輸 送

平積み原則とし、積荷の損傷及び荷崩れに注意してトラック輸送します。

保 管

現場管理者の指示により、損傷を与えない場所に枕をかい平積みします。

	製品名	Rの種類	Rの大きさ	円弧の長さ	方法	形状	仕上げ	
							アルマイト	焼付塗装
笠木	PK100 ~ 400 PM450 ~ 600	平面内・外 R	内 R250 以上 外 R250 以上	2000 以下	溶接		○	○
		アーチ内・外 R	R5000 以上	2000 以下	溶接		○	○
		アーチ内 R	R3000 以上 R5000 未満	2000 以下	溶接		○	○
		アーチ外 R	R2000 以上 R5000 未満					
化粧前カバ	PKK80 PMK80	平面外 R のみ	外 R600 以上	2000 以下	溶接		×	○
	PKK150	平面外 R のみ	外 R1500 以上	2000 以下	溶接		×	○
	PKK001	平面外 R のみ	外 R5500 以上	2000 以下	一体曲げ + 組立		○	○
	PKK002	平面外 R のみ	外 R2500 以上				○	○
	PKK003	平面外 R のみ	外 R2000 以上				○	○
	PKK004	平面外 R のみ	外 R4500 以上				○	○
	PKK005	平面外 R のみ	外 R3000 以上				○	○
水切り笠木	R2110 ~ R2210	平面内・外 R	内 R200 以上 外 R500 以上	2000 以下	溶接		○	○
水切り	R8544	平面内・外 R	内 R2000 以上 外 R2000 以上	2000 以下	溶接		○	○

	製品名	Rの種類	Rの大きさ	円弧の長さ	方 法	形 状	仕 上 げ	
							アルマイト	焼付塗装
下 端 水 切 り	UR0250	平面外 R のみ	外 R500 以上	3000 以下	一体曲げ		○	○
	UR0755	平面外 R のみ	外 R500 以上	2000 以下	組立て		○	○
	UR1255	平面外 R のみ	外 R500 以上	2000 以下	組立て		○	○
	UR1455	平面外 R のみ	外 R900 以上	2000 以下	組立て		○	○
R 付 下 端 水 切 り	UR0055	平面外 R のみ	外 R600 以上	3000 以下	一体曲げ		×	○
	UR0080	平面外 R のみ	外 R900 以上	3000 以下				
	UR0150	平面外 R のみ	外 R1500 以上	2000 以下	溶接		×	○
見 切 り カ バ ー	MK55	平面外 R のみ	外 R600 以上	2000 以下	一体曲げ		×	○
	MK80	平面外 R のみ	外 R1000 以上	2000 以下				
	MK150	平面外 R のみ	外 R1500 以上	2000 以下				
	MK80	平面外 R のみ	外 R600 ~ 1000	2000 以下	溶接		×	○
	AMK80	平面外 R のみ	外 R600 以上	2000 以下	溶接		×	○
防 水 層 端 部 押 え 材	PT1040	平面外 R のみ	外 R1000 以上	2000 以下	溶接		○	○

※下端水切り・防水層端部押え材の尺仕様につきましては、本文ページをご参照ください。

ねじ1本にかかる荷重は、下記引抜試験結果の20%以下になるよう固定ピッチを算出してください。(安全率5倍以上)

コンクリートブロックでの引抜試験結果

試験方法

試験場所 愛知県工業技術センター
試験機仕様 島津製作所 オートグラフDCS-5000
(最大荷重5000kgf)
試験機設定 テストスピード 5mm/min(引抜速度)

試験体

テストピース RC- ϕ 100mm $\times$ 100mm(圧縮強度240kg/cm)
アンカープラグ ストロングVプラグ(SV-8K) 旭化学工業(株)
SUS木ねじ ϕ 5.5mm $\times$ 56mm

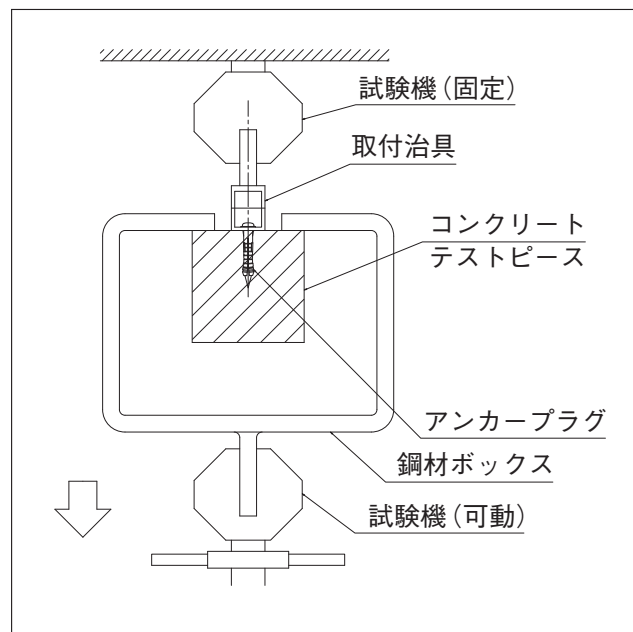
※1:下穴は、テストピースの施工面に対し垂直に垂直に開けて試験を実施する
※2:コンクリートテストピースの材令は、28日以上之物を使用する。

試験結果

試験体No	引抜強さ(kN)	備 考
No.1	5.94	プラグ抜け
No.2	5.93	//
No.3	5.66	//
No.4	6.45	//
No.5	6.03	//
平均値	5.96	

※平均値は5点データ中の最大値と最小値を除く3点の平均値

安全率5での荷重=1.19kN



エポキシ系樹脂併用におけるALC板での引抜試験結果

試験方法

試験場所 社内試験室
試験機仕様 島津製作所 オートグラフAG-IS 50KN
試験機設定 テストスピード 5mm/min(引抜速度)

試験体

ALCパネル シポレックス(t=100 W=600)
住友金属鉱山シポレックス(株)
アンカープラグ ストロングVプラグ(SV-8K) 旭化学工業(株)
SUS木ねじ ϕ 5.5mm $\times$ 56mm

エポキシ系樹脂 ボンドE206W コニシ(株)

※硬化養生は24時間とする

試験結果

試験体No	引抜強さ(kN)	備 考
No.1	2.74	コーン状破壊
No.2	3.17	//
No.3	3.06	//
No.4	3.28	//
No.5	2.95	//
平均値	3.04	

※平均値は5点データ中の最大値と最小値を除く3点の平均値

安全率5での荷重=0.6kN

※ALC板への施工について

ALC板への取付は、アングルなどの鋼製下地を入れてください。やむをえず直接ALC板へ施工する場合には〔エポキシ系樹脂〕を併用してください。

笠木の目地について

温度変化に対応した【スライドファスナー】構造

笠木の取付はスナップイン方式の為、笠木と躯体は常に応力がかからない【スライドファスナー】の構造になっています。

笠木の目地寸法について

アルミニウムは、鉄や銅などに比べ「線膨張係数」が大きく、設計時には相応の目地寸法を検討する必要があります。
パラカサは、標準目地寸法を「6mm」とする事で温度変化に対応いたします。

◆アルミニウム合金材 6063 の線膨張係数 α

温度範囲	線膨張係数
-60℃ ~ 20℃	21.8×10^{-6}
20℃ ~ 100℃	23.4×10^{-6}

※(社)軽金属協会発行 アルミニウムハンドブック より

◆温度差による目地寸法の変化
温度差による目地寸法は次の公式で算出します。

$$\Delta L = \alpha \times L \times \Delta T$$

本体寸法 L=3000(mm)
施工時温度 20℃
とした場合、目地寸法は下表の通りとなります。

温度(℃)	温度差(℃)	材料の伸び(mm)	目地寸法(mm)
	ΔT	ΔL	
70	50	3.51	2.49
60	40	2.81	3.19
50	30	2.11	3.89
40	20	1.40	4.60
30	10	0.70	5.30
20	0	0	6.00
10	-10	-0.65	6.65
0	-20	-1.31	7.31
-10	-30	-1.96	7.96
-20	-40	-2.62	8.62
-30	-50	-3.27	9.27

[参考]アルミニウム以外の工業用材料の線膨張係数(20℃)

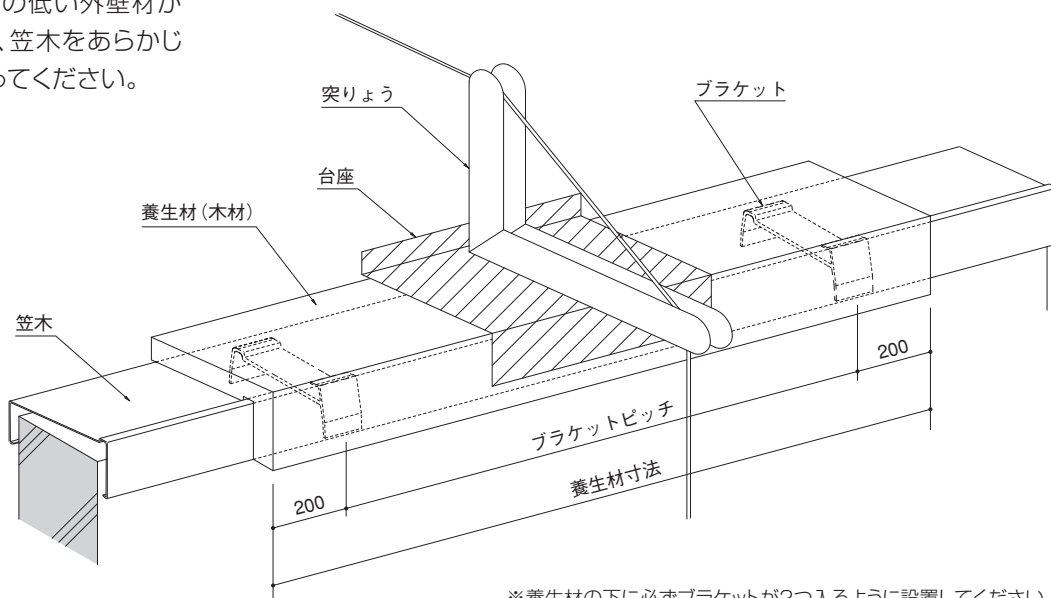
材 料	線膨張係数
鉄[板]・鋼	11.7×10^{-6}
銅[熱間圧延材]	16.8×10^{-6}
ステンレス鋼	17.3×10^{-6}

※(社)軽金属協会発行 アルミニウムハンドブック より

チェア型ゴンドラ設置の場合

①下図の様に笠木を木材で養生し台座を設けて突りょうを設置してください。

②ALC板のように圧縮強度の低い外壁材が用いられている場合には、笠木をあらかじめ撤去した後に作業を行ってください。



※養生材の下に必ずブラケットが2つ入るように設置してください。
ブラケットの位置は笠木内側に手を入れる事により確認出来ます。

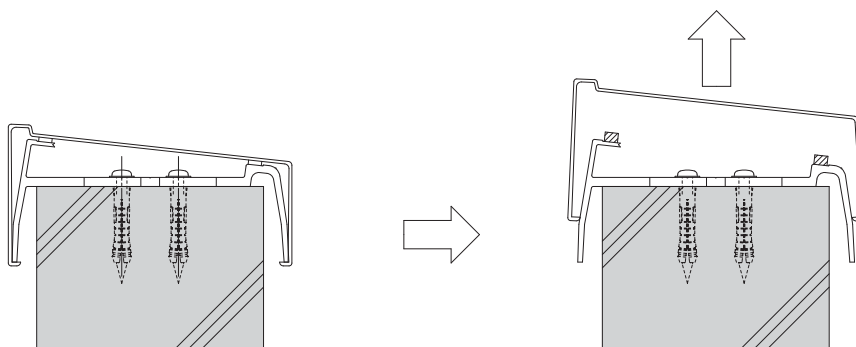
デッキ型ゴンドラ設置の場合

①2～3人乗りのデッキ型ゴンドラを使用する場合には、作業部分の笠木を一時撤去して作業を行ってください。

②取り外す場合には、2～3人で作業を行ってください。

③取り外し方法は下図に示します。

④笠木の復旧は、笠木本体をブラケットに押し込んで嵌め合わせてください。



メンテナンスについて

工業地帯や、海岸からまともに風を受ける建物、また同じ建物でも雨による自然の洗浄がされにくい見え隠れ部分等は腐食の起こりやすい所です。

したがってアルミ建材を汚れや腐食から守り、竣工時の美観を長く保つためには、メンテナンス（清掃など）を定期的に行う必要があります。

アルミニウム建材の表面の汚れが軽いうちに清掃するようにすれば、清掃も簡単で費用も少なくて済みます。しかし長期間清掃しないで放置しておきますと、表面に付着した汚れが腐食へ進行します。こうなると、清掃しただけではきれいにならず、補修の必要が出てくることもあり、費用も多くかかります。

清掃の頻度や方法は汚れの程度及び立地条件により下表を参考にしてください。

清掃方法

①水で濡らしたぞうきんや、やわらかいスポンジで拭いてください。

②中性洗剤を水で薄めて使うと、よりきれいになります。洗剤が残らないよう水拭きしてください。

建物の立地条件と清掃の頻度

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	1～2回／年
海岸、工業地帯	1回／年
市街地	0.5～1回／年
田園地帯	0.5回／年

アルマイト仕上げについて

JIS H8602 陽極酸化塗装複合皮膜の性能

項目		陽極酸化 皮膜の厚さ (平均皮膜 厚さ) μm	キヤス耐食性		塗膜の付着性				塗膜の耐溶剤性	耐アルカリ性	
					碁盤目 試験	沸騰水碁盤目試験					
			試験 時間 h	レイティン グナンバ RN		試験 時間h	外観	沸騰水試験 後の碁 盤目試験		試験 時間 h	レイティン グナンバ RN
性能	A1	5以上、かつ各 測定点皮膜厚 さが、すべて平 均皮膜厚さの 80%以上でな くてはならない。	120	9.5 以上	25/25	5	塗膜にし わ、割れ、 ふくれ及 び著しい 変色が生 じてはなら ない。	25/25	試験前後の塗膜の鉛 筆硬度の低下は、JIS K5600-5-4の6.2に 規定する硬度スケール で1単位以下でなければ ならない	24	9.5 以上
	A2										
	B		72								
	C		24							8	

項目		複合耐食性			促進耐候性						参考	
		紫外線蛍光ランプ式 促進耐候性試験		キヤス 試験	レイティン グナンバ RN	キセノンランプ式 促進耐候性試験			サンシャインカーボン アーク灯式促進耐候性試験			適用環境
		試験時間h	試験 時間h			試験 時間h	外観	光沢保 持率%	試験 時間h	外観	光沢保 持率%	
性能	A1	240	120	9 以上	4000	著しい変退 色及び著し いチョーキ ングが生じ てはならな い。	75 以上	3000	著しい変退 色及び著し いチョーキ ングが生じ てはならな い。	75 以上	過酷な環境でかつ、紫外線 露光量の多い地域の屋外	
	A2				2000			1500			過酷な環境の屋外	
	B				72			1000			750	一般的な環境の屋外
	C		—		—			350			250	屋内

※RIKENエレカラーはA1種が標準仕様です。

- 表面保護一口メモ
- 適度のクリーニングは美観を保つとともに長持ちいたします。
(スポンジなどに0.5%～2%の中性洗剤水溶液を含ませて清掃し、水洗いします。)
- 施行中、モルタルがアルミに付着した時はすぐに水できれいに洗い流してください。
(そのままおきますと腐食の原因になります。)

14章 金属工事

1節 共通事項

14.1.1 一般事項

この章は、各種金属の表面処理、金属製品の製作及び取付け工事に適用する。また、1章[各章共通事項]と併せて適用する。

14.1.2 基本要品質

- (1) 金属工事に用いる材料は、所定のものであること。
- (2) 製品は、所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に堅固に取り付けられていること。
- (3) 製品は、所要の仕上り状態であること。

14.1.3 工法

- (1) 製品等を取り付けるための受材は、構造体の施工時に取り付ける。ただし、やむを得ずあと付けとする場合は、次により、防水層等に損傷を与えないよう、特に注意する。
 - (ア) (1)の受材を、あと施工アンカーの類とする場合は、十分な耐力を有するものとする。
 - (イ) あと施工アンカーの穿孔時に鉄筋に当たった場合は、受材の取付けに有効で、かつ、耐力上支障のない部分に穿孔位置を変更する。
 - (ウ) (イ)で使用しない孔は、モルタル等を充填する。
 - (エ) あと施工アンカーの施工後の確認試験は、引張試験とし、次による。ただし、軽易な場合は、監督職員の承諾を受けて試験を省略することができる。
 - (a) 1 ロットは、同一施工条件で施工されたものとする。
 - (b) 試験の箇所数は、1ロットに対し3本とし、ロットから無作為に抜き取る。
 - (c) 試験方法は、あと施工アンカーを確認強度まで引張るものとする。また、判定基準は、確認強度を有する場合を合格とする。

なお、確認強度は、1.2.2[施工計画書]の品質計画において定めたものとする。
 - (d) ロットの合否判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。
 - (e) 不合格ロットが発生した場合の措置は、次による。
 - ① 直ちに作業を中止し、不合格の発生原因を調査して、必要な改善措置を定め、監督職員の承諾を受ける。
 - ② 不合格ロットは、さらに、そのロットの 20%を抜き取り、試験箇所の全てが合格すれば、ロットを合格とし、不合格の場合は、そのロットの全てに対して試験を行う。

なお、試験方法及び判定基準は(c)による。
 - ③ 試験の結果、不合格となったあと施工アンカーは、切断等の措置を行い、(ア)から(ウ)までにより、新たに施工し、さらに、(c)による引張試験を行う。
- (2) 異種金属で構成される金属製品の場合は、適切な方法により接触腐食を防止する。

14.1.4 養生その他

- (1) 金属製品は、必要に応じて、ポリエチレンフィルム、はく離ペイント等で養生を行い搬入する。
- (2) 取付けが終わった金物で、出隅等の損傷のおそれがある部分は、当て板等の適切な養生を行う。
- (3) 工事完成時には、養生材を取り除き清掃を行う。なお、必要に応じて、ワックス掛け等を行う。

2節 表面処理

14.2.1 ステンレスの表面仕上げ

ステンレスの表面仕上げの種類は、特記による。特記がなければ、表面仕上げは、HL程度とする。

14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

- (1) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理は、表14.2.1により、種別は、特記による。

表14.2.1表面処理の種別

種別	表面処理	JIS		
		規格番号	規格名称	皮膜又は複合皮膜の種類
AB-1 種	無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜	AA15
AB-2 種	着色陽極酸化皮膜			AA6
AC-1 種	無着色陽極酸化皮膜			
AC-2 種	着色陽極酸化皮膜			
BA-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H 8602	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜	A2(過酷な環境の屋外)
BA-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			B(一般的な環境の屋外)
BB-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜			C(屋内)
BB-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			
BC-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜			
BC-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			
C 種	化成皮膜の上に粗装 ^(注)	JIS H 4001	アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条	—

(注) 常温乾燥形の塗装の場合は、特記による。

- (2) 陽極酸化皮膜の着色方法は、特記による。特記がなければ、二次電解着色とし、色合等は特記による。
- (3) 種別が表14.2.1のAB-1種、AB-2種、AC-1種又はAC-2種の場合は、表面処理後に次の措置を講ずる。
- (ア) アルカリ性材料と接する箇所は、耐アルカリ性の塗料を塗り付ける。
- (イ) シーリング被着面は、水和封孔処理による表面生成物を取り除く。

7節 アルミニウム製笠木

14.7.1 一般事項

この節は、建物の屋上パラペット等に使用するオープン形式のアルミニウム製笠木に適用する。

14.7.2 材料

- (1) アルミニウム製笠木の主な構成部材による種類は表14.7.1により、部材の種類は特記による。

表14.7.1部材の種類(単位:mm)

種類 部材	250形		300形		350形		材質その他
	製品幅	最小 呼称肉厚	製品幅	最小 呼称肉厚	製品幅	最小 呼称肉厚	
笠木本体	240 又は 250	1.6	300	1.8	350	2.0	押出形材は、JIS H 4100(アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材)に基づくA6063S(普通級)とする。
付属部品	固定金具 ジョイント金具						笠木本体の製造所の仕様による。

- (2) コーナー部、突当り部等の役物は、笠木本体の製造所の仕様による。
- (3) 表面処理は、次による
- (ア) 笠木本体の材料の表面処理は、表14.2.1により、種別は特記による。
- (イ) 付属部品の表面処理は、笠木本体の製造所の仕様による。

14.7.3 工法

- (1) 笠木の固定金具は、次による。
- (ア) 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法は、特記による。
- (イ) 固定金具の固定は、あと施工アンカーとし、(ア)に基づき、堅固に取り付ける。
- (ウ) コンクリート下地モルタル塗りの上にに取り付ける場合は、コンクリート部分へのアンカー長さを確保する。
- (2) 笠木本体と固定金具との取付けは、はめあい方式によるはめあい、ボルトねじ締付け金具等による。
- (3) 笠木と笠木との継手部(ジョイント部)は、ジョイント金具のはめあい方式によりはめあい、取付けを行う。
- (4) コーナー部は、留め加工とし、溶接又は裏板補強を行ったうえで、止水処理を施した部材を用いる。
- (5) (4) 以外のコーナー部、突当り部等の工法は、笠木本体の製造所の仕様による。

営業品目

スパンドレル
アルミ屋内用吸音機能付仕上材
内外装ルーバー
アルミ笠木
エキスパンションジョイントカバー
カーテン・ブラインドボックス
アルミひさし
点検口
木造軸組工法用制震ブレース
ソーラーパネル架台
特殊折り曲げ加工オーダー製品



JIS JQA JIS H4100 JQ0308097 JIS JQA JIS H8602 JQ0309011

理研軽金属工業株式会社

本社・工場 静岡市駿河区曲金3丁目2番1号

〒422-8530 TEL(054)281-1111(代)
FAX(054)280-0011

■ 製品に関するお問い合わせ・カタログ請求は、最寄りの支店・営業所へお願いします。

東京支店 東京都港区新橋1丁目1番13号 アーバンネット内幸町ビル 〒105-8681 TEL(03)6810-7390(代)
FAX(03)6810-7392
大阪支店 大阪市北区豊崎2-7-5 新御堂豊崎ビル2F 〒531-0072 TEL(06)6485-3310(代)
FAX(06)6485-3315
名古屋支店 名古屋市中村区椿町15-21 明治安田生命名古屋西口ビル3F 〒453-0015 TEL(052)452-7346(代)
FAX(052)459-1033
札幌営業所 札幌市北区北七条西4丁目17-1 KDX札幌北口ビル7F 〒060-0807 TEL(011)709-9261(代)
FAX(011)708-0548
仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡3丁目4-18 タカノビル第22ビル6F 〒983-0852 TEL(022)291-7776(代)
FAX(022)792-8010
静岡営業所 静岡市駿河区曲金3丁目2番1号 〒422-8530 TEL(054)281-1920(代)
FAX(054)281-3439
広島営業所 広島市中区白島北町1-50 広栄ビル2F 〒730-0001 TEL(082)227-0511(代)
FAX(082)227-0070
福岡営業所 福岡市博多区博多駅南4丁目2-10 南近代ビル5F 〒812-0016 TEL(092)434-5088(代)
FAX(092)434-5089

<https://www.rikenkeikinzo.co.jp>



COP2009NK200902

取扱店

予告なく仕様変更する場合がありますので、御承ください。
RIKEN、パラカサ、エレカラー、シルクカラーおよびパラマスクは理研軽金属工業株式会社の
日本国内における登録商標です。
本カタログに掲載の写真、画像データは理研軽金属工業株式会社に帰属します。複製・転用・
転載・二次的使用、その他これらに類する全ての行為をお断りします。

